

様式1

大学等名	桜花学園大学
プログラム名	桜花学園大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 対象となる学部・学科名称

③ 修了要件

プログラムを構成する次の3科目6単位(共通教育科目-基礎科目-数量的スキル情報リテラシー関係)から、2単位以上取得すること。

選択科目:統計学、社会調査法、情報社会論

必要最低科目数・単位数

1

科目

2

単位

履修必須の有無

令和10年度以降に履修必須とする計画、又は未定

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
統計学	2		○	○					
社会調査法	2		○	○					
情報社会論	2		○	○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
統計学	2		○	○					
社会調査法	2		○	○					
情報社会論	2		○	○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
統計学	2		○	○					
社会調査法	2		○	○					
情報社会論	2		○	○					

⑦ 「活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
統計学	2		○	○					
社会調査法	2		○	○					
情報社会論	2		○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
統計学	2		○	○	○						
社会調査法	2		○	○	○						
情報社会論	2		○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
社会調査法	4-1統計および数理基礎		
社会調査法	4-8データ活用実践(教師あり学習)		
社会調査法	4-9データ活用実践(教師なし学習)		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	「統計学」 【データを起点としたものの見方】統計学についての概要、データの種類(尺度水準)(1回目) 【ビッグデータ】回帰分析(重回帰分析)と講義全体の振り返り(14回目) 「社会調査法」 【ビッグデータ、AI、人間の知的活動とAIの関係性、データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方】社会調査の目的(1回目) 【人間の知的活動とAIの関係性、データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方】社会調査の意義・歴史・課題(2回目) 「情報社会論」 【AI、IoT、ビッグデータ、Society5.0、データを起点としたものの見方】情報化社会とは(1回目) 【AI、IoT、ビッグデータ、Society5.0、データを起点としたものの見方】情報社会の発展(8回目) 【AI、IoT、ビッグデータ、Society5.0、データを起点としたものの見方】成熟する情報社会(9回目) 【AI、IoT、ビッグデータ、Society5.0、データを起点としたものの見方】情報社会における社会情報システム(10回目) 【AI、IoT、ビッグデータ、Society5.0、データを起点としたものの見方】情報社会と生活(11回目)
	1-6	「統計学」 【AI等を活用した新しいビジネスモデル】統計学についての概要、データの種類(尺度水準)(1回目) 【AI最新技術の活用例】回帰分析(重回帰分析)と講義全体の振り返り(14回目) 「社会調査法」 【AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、レコメンデーションなど)、AI最新技術の活用例】社会調査の目的(1回目) 【AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、レコメンデーションなど)】社会調査の意義・歴史・課題(2回目) 「情報社会論」 【AI最新技術の活用例】情報化社会とは(1回目) 【AI最新技術の活用例】成熟する情報社会(9回目) 【AI最新技術の活用例】情報社会における社会情報システム(10回目) 【AI最新技術の活用例】情報社会と生活(11回目)

(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 「統計学」 【調査データ、実験データ、人の行動ログデータ】統計学についての概要、データの種類(尺度水準)(1回目) 【構造化データ】回帰分析(重回帰分析)と講義全体の振り返り(14回目) 「社会調査法」 【調査データ、1次データ、2次データ、データ作成】社会調査の目的(1回目) 【調査データ、1次データ、2次データ、データ作成】社会調査の意義・歴史・課題(2回目) 「情報社会論」 【調査データ、ビッグデータ、オープンデータ】情報化社会とは(1回目) 【調査データ、ビッグデータ、オープンデータ】成熟する情報社会(9回目) 【調査データ、ビッグデータ、オープンデータ】情報社会における社会情報システム(10回目) 【調査データ、ビッグデータ、オープンデータ】情報社会と生活(11回目) 1-3 「統計学」 【データ・AI活用領域の広がり】統計学についての概要、データの種類(尺度水準)(1回目) 【仮説検証、原因究明、判断支援】統計的仮説検定の考え方、1つの平均値の検定(9回目) 【販売、マーケティング、サービスなど】回帰分析(重回帰分析)と講義全体の振り返り(14回目) 「社会調査法」 【データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)、研究開発、マーケティング、仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定】社会調査の目的(1回目) 【データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)、研究開発、マーケティング、仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定】社会調査の意義・歴史・課題(2回目) 「情報社会論」 【AI活用領域の拡大、研究開発、調達、製造、物流、販売】情報化社会とは(1回目) 【AI活用領域の拡大、研究開発、調達、製造、物流、販売】情報メディアとその変遷(2) 映像・電気・電波メディア(3回目) 【AI活用領域の拡大、研究開発、調達、製造、物流、販売】情報メディアとその変遷(3) デジタルメディア(4回目) 【AI活用領域の拡大、研究開発、調達、製造、物流、販売】成熟する情報社会(9回目) 【AI活用領域の拡大、研究開発、調達、製造、物流、販売】情報社会における社会情報システム(10回目)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 「統計学」 【データ可視化】統計学についての概要、データの種類(尺度水準)(1回目) 【データ可視化】度数分布表、ヒストグラム(2回目) 【関係性の可視化】相関(2変数の関係)(12回目) 【データ解析】回帰分析(重回帰分析)と講義全体の振り返り(14回目) 「社会調査法」 【データ解析、パターン発見、データ可視化、非構造化データ処理、AIとビッグデータ】社会調査の目的(1回目) 【データ解析、データ可視化、非構造化データ処理、AIでできることとできないこと、AIとビッグデータ】社会調査の意義・歴史・課題(2回目) 【データ解析、データ可視化、特化型AIと汎用AI、今のAIでできることとできないこと、AIとビッグデータ、生成AIの活用】社会調査の手順①:問題意識をもち、調査テーマを決定する(3回目) 【データ解析、データ可視化、特化型AIと汎用AI、今のAIでできることとできないこと、AIとビッグデータ、生成AIの活用】社会調査の手順②:仮説を構築し、調査方法を決定する(4回目) 「情報社会論」 【データの解析・可視化、AIとビッグデータ、自動化技術】情報化社会とは(1回目) 【データの解析・可視化、AIとビッグデータ、自動化技術】情報メディアとその変遷(3) デジタルメディア(4回目) 【データの解析・可視化、AIとビッグデータ、自動化技術】成熟する情報社会(9回目) 【データの解析・可視化、AIとビッグデータ、自動化技術】情報社会における社会情報システム(10回目) 1-5 「統計学」 【結果の共有・伝達】統計学についての概要、データの種類(尺度水準)(1回目) 【データ解析と推論】統計的仮説検定の考え方、1つの平均値の検定(9回目) 【データ解析と推論】回帰分析(重回帰分析)と講義全体の振り返り(14回目) 「社会調査法」 【課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案】社会調査の目的(1回目) 【課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案】社会調査の意義・歴史・課題(2回目) 「情報社会論」 【データサイエンスのサイクル、課題抽出、データ解析と推論】情報化社会とは(1回目) 【データサイエンスのサイクル、課題抽出、データ解析と推論】情報メディアとその変遷(3) デジタルメディア(4回目) 【データサイエンスのサイクル、課題抽出、データ解析と推論】成熟する情報社会(9回目) 【データサイエンスのサイクル、課題抽出、データ解析と推論】情報社会における社会情報システム(10回目) 【データサイエンスのサイクル、課題抽出、データ解析と推論】情報社会と生活(11回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	「統計学」 【データ倫理】統計学についての概要、データの種類(尺度水準)(1回目) 【データ・AI活用における負の事例紹介】統計学についての概要、データの種類(尺度水準)(1回目) 「社会調査法」 【個人情報保護、データ倫理、データ・AI活用における負の事例紹介】社会調査の意義・歴史・課題(2回目) 【個人情報保護、データ倫理、データバイアス】質問紙調査票を作成する(10回目) 【個人情報保護、データ倫理、データバイアス】観察調査の実践(フィールドワーク、参与観察、行動観察など)(12回目) 【個人情報保護、データ倫理、データバイアス】インタビュー調査の技法(アポイントメントの取り方、質問の仕方、インタビューの練習)(13回目) 【データ・AIを活用する上で知っておくべきこと】リサーチ・リテラシーを身につけるためには(15回目) 「情報社会論」 【個人情報保護、データ倫理、データ・AI活用における負の事例紹介】コンピュータ社会とネットワーク社会(6回目) 【個人情報保護、データ倫理、データ・AI活用における負の事例紹介】コンピュータ社会からデジタルネットワーク社会へ(7回目) 【個人情報保護、データ倫理、データ・AI活用における負の事例紹介】情報社会と情報公開(12回目) 【個人情報保護、データ倫理、データ・AI活用における負の事例紹介】情報社会と情報財産(13回目) 【個人情報保護、データ倫理、データ・AI活用における負の事例紹介】情報社会と情報保護(14回目) 【個人情報保護、データ倫理、データ・AI活用における負の事例紹介】情報社会と犯罪・倫理(15回目)
	3-2	「統計学」 【情報セキュリティの3要素】統計学についての概要、データの種類(尺度水準)(1回目) 【匿名加工情報】回帰分析(重回帰分析)と講義全体の振り返り(14回目) 「社会調査法」 【情報セキュリティの3要素、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】社会調査の意義・歴史・課題(2回目) 【情報セキュリティの3要素、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】質問紙調査票を作成する(10回目) 【情報セキュリティの3要素、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】観察調査の実践(フィールドワーク、参与観察、行動観察など)(12回目) 【情報セキュリティの3要素、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】インタビュー調査の技法(アポイントメントの取り方、質問の仕方、インタビューの練習)(13回目) 【情報セキュリティの3要素、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】リサーチ・リテラシーを身につけるためには(15回目) 「情報社会論」 【情報セキュリティの3要素、暗号化、パスワード、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】コンピュータ社会とネットワーク社会(6回目) 【情報セキュリティの3要素、暗号化、パスワード、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】コンピュータ社会からデジタルネットワーク社会へ(7回目) 【情報セキュリティの3要素、暗号化、パスワード、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】情報社会と情報公開(12回目) 【情報セキュリティの3要素、暗号化、パスワード、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】情報社会と情報財産(13回目) 【情報セキュリティの3要素、暗号化、パスワード、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】情報社会と情報保護(14回目) 【情報セキュリティの3要素、暗号化、パスワード、情報漏洩、セキュリティ事故の事例紹介】情報社会と犯罪・倫理(15回目)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	「統計学」 【データの種類】統計学についての概要、データの種類(尺度水準)(1回目) 【データの分布】度数分布表、ヒストグラム(2回目) 【データの分布、代表値の性質の違い、データのばらつき】代表値、散布度(3回目) 【母集団と標本抽出】母集団と標本、正規分布(5回目) 【母集団と標本抽出】標準化(6回目) 【母集団と標本抽出、観測データに含まれる誤差の扱い】母集団の推定、不偏推定量(7回目) 【母集団と標本抽出】区間推定(8回目) 【母集団と標本抽出】統計的仮説検定の考え方、1つの平均値の検定(9回目) 【母集団と標本抽出】2つの平均値の検定(t検定)(10回目) 【母集団と標本抽出】3つ以上の平均値の検定(分散分析)(11回目) 【相関と因果】相関(2変数の関係)(12回目) 「社会調査法」 【データの種類(量的変数、質的変数)、相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)、母集団と標本抽出】社会調査の手順②: 仮説を構築し、調査方法を決定する(4回目) 【データの種類(量的変数、質的変数)、データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、代表値の性質の違い、データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、観測データに含まれる誤差の扱い、相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)、母集団と標本抽出】社会調査の手順③: 収集データを分析する(5回目) 【データの種類(量的変数、質的変数)、データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、代表値の性質の違い、データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、観測データに含まれる誤差の扱い、相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)】社会調査の手順④: 分析結果の解釈と調査結果の作成(6回目) 【データの種類(量的変数、質的変数)、観測データに含まれる誤差の扱い、相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)、母集団と標本抽出】因果関係と相関関係(7回目) 【データの種類(量的変数、質的変数)、データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、代表値の性質の違い、データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、観測データに含まれる誤差の扱い、相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)、母集団と標本抽出】統計データをもとにさまざまな分析をおこなう(e-Statを使用)(8回目) 「情報社会論」 【データの種類、データの分布、データのバラツキ、相関と因果、統計情報の正しい理解】情報の取得・加工・利用(5回目)
	2-2	「統計学」 【データ表現、不適切なグラフ表現】表やグラフの種類とその特徴(4回目) 【データの比較】統計的仮説検定の考え方、1つの平均値の検定(9回目) 【データの比較】2つの平均値の検定(t検定)(10回目) 【データの比較】3つ以上の平均値の検定(分散分析)(11回目) 【データ表現】回帰分析(単回帰分析)(13回目) 【データ表現】回帰分析(重回帰分析)と講義全体の振り返り(14回目) 「社会調査法」 【データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)、データの比較、不適切なグラフ表現】統計データをもとにさまざまな分析をおこなう(e-Statを使用)(8回目) 【データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)、データの比較、不適切なグラフ表現】データ入力とともにさまざまな統計分析をおこなう(Excelでのクロス集計、グラフの作成)(11回目) 【データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)、データの比較、不適切なグラフ表現】レポート・論文の書き方(14回目) 「情報社会論」 【データ表現、データの比較、優れた可視化事例の紹介】情報の取得・加工・利用(5回目)

2-3	「統計学」 【データ解析ツール】2つの平均値の検定(t検定)(10回目) 【データ解析ツール】3つ以上の平均値の検定(分散分析)(11回目) 【データ解析ツール】相関(2変数の関係)(12回目) 【データ解析ツール】回帰分析(単回帰分析)(13回目) 【データ解析ツール】回帰分析(重回帰分析)と講義全体の振り返り(14回目) 「社会調査法」 【データの集計(和、平均)、データの並び替え、ランキング、データ解析ツール、表形式のデータ(csv)】統計データをもとにさまざまな分析をおこなう(e-Statを使用)(8回目) 【データの集計(和、平均)、データの並び替え、ランキング、データ解析ツール】量的データ収集の方法——サンプリング(単純無作為抽出、層化抽出、多段抽出など)(9回目) 【データの集計(和、平均)、データの並び替え、ランキング、データ解析ツール】データ入力とさまざまな統計分析をおこなう(Excelでのクロス集計、グラフの作成)(11回目) 「情報社会論」 【データの集計、ランキング、スプレッドシート、表形式のデータ(csv)】情報の取得・加工・利用(5回目)
-----	--

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

課題や目的に応じて、数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識を基に情報を収集・分析し、人間や社会への深い洞察力和情報モラル・情報セキュリティの理解をもって、課題を解決するために自己の見解を適切に発信・伝達できる実践的な能力を身につける。

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度

令和6年度(和暦)

②大学等全体の男女別学生数

男性 23人 女性 743人 (合計 766人)

(令和6年5月1日時点)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
保育学部	610	175	710	138	137											138	19%
学芸学部	103	50	160	2	2											2	1%
国際学部	53	50	50	0	0											0	0%
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合 計	766	275	920	140	139	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140	15%

大学等名 桜花学園大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 40 人 (非常勤) 82 人

② プログラムの授業を教えている教員数 3 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 上村 晶

(役職名) 共通教育委員長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

桜花学園大学共通教育委員会、桜花学園大学合同教務委員会、桜花学園大学FD委員会

(責任者名) 上村 晶

(役職名) 共通教育委員長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

桜花学園大学共通教育委員会規程、桜花学園大学保育学部教務委員会規程、桜花学園大学国際学部教務委員会規程、桜花学園大学FD委員会規程、桜花学園大学保育学部FD委員会規程、桜花学園大学国際学部FD委員会規程

⑥ 体制の目的

共通教育委員会は、桜花学園大学の共通教育に係わる教育課程および授業に関する事項を審議し、必要な連絡調整を行う。
桜花学園大学合同教務委員会は、教育課程、授業、定期試験、成績評価、単位認定、資格授与、学籍、時間割編成、その他教務に関する必要事項を審議し、必要な連絡調整をおこなう。
桜花学園大学FD委員会は、FDのための基本方針の策定、FDのための研修会等の開催、その他FDに関する事項、FD活動についての自己点検・評価を取り扱う。
これらの組織は協働して数理・データサイエンス・AI教育の円滑な実施および教育内容の確認と教育効果の質向上を図る。

⑦ 具体的な構成員

共通教育委員会: 上村晶(共通教育委員長・保育学部教授)、辻岡和代(教務委員・保育学部教授)、内田将平(教務委員・保育学部助教)、森山雅子(教務委員・保育学部准教授)、布和(教務委員・国際学部(学芸学部)教授)、上野佳苗(教務課職員)、木口宜彦(教務課職員)

桜花学園大学合同教務委員会: 上村晶(教務部長・保育学部教授)、辻岡和代(教務委員・保育学部教授)、内田将平(教務委員・保育学部助教)、森山雅子(教務委員・保育学部准教授)、布和(教務委員・国際学部(学芸学部)教授)、中川千加子(教務課長)

桜花学園大学FD委員会: 森川拓也(FD委員長・保育学部准教授)、松永康史(保育学部准教授)、木村達志(保育学部教授)、布和(国際学部(学芸学部)教授)、上村晶(教務部長・保育学部教授)、中川千加子(教務課長)

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和6年度実績	15%	令和7年度予定	30%	令和8年度予定	50%
令和9年度予定	80%	令和10年度予定	100%	収容定員(名)	920
具体的な計画					
全学の共通教育科目に配置し、選択必修科目として全学部の卒業要件に定めているため、配当対象学年において履修率が高い。年度進行に伴い、当プログラムの履修率は100%になる。一部の学部のみ、教育課程における当該科目群の卒業要件が異なるが、今後、履修率の向上を目指して当該学部の卒業要件を検討する。また、新入生オリエンテーションや履修ガイダンスにおいて説明を強化すること、新入生へ配布する『Campus Life Guide』やシラバスにおいて数理・データサイエンス・AI教育プログラムのリテラシーレベルに該当する科目であることを記載することを検討し、周知機会を増やして学生の関心を高めることを図る。					

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

全学の共通教育科目に配置し、選択必修科目として全学部の卒業要件に定めている。時間割上も同一の曜日時限に設定することで、全学生を対象に公正・効率的な授業運営を可能としている。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

新入生へ配布する『Campus Life Guide』に教育課程の構成について記載している。また、新入生オリエンテーションにおいて、共通教育委員長より全新生へ共通教育科目及び各領域の内容や学修目標、卒業までの学修の道程における学修構成等を説明している。さらに、毎学期の履修ガイダンスにおいて卒業要件等を説明し、各自の履修科目を確認させている。
--

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本学では入学時にパソコンを必携とし、大学から全学生にMicrosoft Office365を提供して授業における情報通信技術の利活用を推進している。オンデマンドによる学修や同時双方向型オンライン学修、LMSの活用への資料掲載等により、学生各自が反復学習可能となるよう、授業担当者へ当該システムの活用を推奨している。また、「遠隔授業個人申請の手順」を整備し、実習や障害等により通学が困難な学生にも面接授業と同等の学修環境を用意できる体制を整えている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

学修のための資料をアーカイブすることで学生各自が反復学習可能となるよう授業担当者へLMSの活用を推奨している。また、オフィスアワーや授業担当者との連絡方法を公開し、授業時間内外で学修指導、質問を受け付ける仕組みを用意している。さらに、本学に附置する情報総合センターに専任者を置き、開局時間は学生からの質問等を受け付ける体制を整えている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

桜花学園大学共通教育委員会、桜花学園大学合同教務委員会、桜花学園大学FD委員会

(責任者名) 上村 晶

(役職名) 共通教育委員長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	学務部教務課にて本プログラムの履修・修得状況を管理するとともに、同データは桜花学園大学共通教育委員会、桜花学園大学合同教務委員会にて評価・改善のための資料として活用している。
学修成果	学務部教務課が実施する授業アンケートにおいて、到達目標の達成度、身についたと感じる学修成果を把握することができる。また、桜花学園大学合同教務委員会が実施するアセスメント活動において、成績評価の割合を把握することができる。これらのデータは桜花学園大学共通教育委員会、桜花学園大学合同教務委員会、桜花学園大学FD委員会にて評価・改善のための資料として活用している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	学務部教務課が実施する授業アンケートにおいて、授業内容の理解度、ルーブリックの理解度を把握することができる。同データは桜花学園大学共通教育委員会、桜花学園大学合同教務委員会、桜花学園大学FD委員会にて評価・改善のための資料として活用している。また、授業担当者は授業計画において小テストや課題を設定し、学生個々の理解度を把握し、授業運営の改善に役立てている。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本学は、当該プログラムを構成する科目を全学の共通教育科目に配置し、選択必修科目として全学部の卒業要件に定めているため、配当対象学年において履修率が高いが、次年度は、全授業を対象として実施している学期末授業アンケートの前年度授業アンケート結果を含めたHPにおける当該プログラムの公開、新入生オリエンテーションや履修ガイダンスにおける当該プログラムの説明の強化を行い、数理・データサイエンス・AIに係る関心や学ぶことの意義への理解を促進する取り組みを行う。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本学は、当該プログラムを構成する科目を全学の共通教育科目に配置し、選択必修科目として全学部の卒業要件に定めているため、履修率が高いが、周知機会を増やして学生の関心を高めるため、新入生へ配布する『Campus Life Guide』やシラバスにおいて数理・データサイエンス・AI教育プログラムのリテラシーレベルに該当する科目であることを記載することを検討、また、新入生オリエンテーションや履修ガイダンスにおいて、各学科教務委員等より当該プログラムを説明する機会の拡充を図る。さらに、シラバス作成依頼時や非常勤講師打合せ会において当該プログラムを授業担当者へ説明し、できる限り多くの学生が履修・修得できるよう、LMS等の活用を強化するよう推奨する。自己点検・評価活動や関心・理解を促進する取り組みを踏まえ、内容・水準の維持・向上、学修意欲の喚起に資する教育活動を継続する。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	学務部学生課では、卒業年次生に対し、進路・就職状況アンケートを行うとともに、卒業後1年が経過した卒業生にアンケート調査を実施している。これらにより、今後、当該プログラム修了者の進路、活躍状況等を把握することが可能である。また、正課に配置する学外実習（インターンシップ、教育実習、等）実施時の教員による巡回指導、連携協定を結ぶ自治体との協働活動、大学評価委員会が定期開催する外部評価において、当該プログラム修了者の活躍状況や学外からの評価を収集する。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	正課に配置する学外実習（インターンシップ、教育実習、等）実施時の教員による巡回指導、連携協定を結ぶ自治体との協働活動、大学評価委員会が定期開催する外部評価において、当該プログラムへの意見を収集する。修了者の活躍状況を含めた学外からの意見は共通教育委員会において集約し、当該プログラムの改善・向上に活用する。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	各授業において、数理・データサイエンス・AIが実社会でどのように利活用されているか、題材は身近なテーマを取り上げ、学生の亲身体験に即した経験として捉えることができ、学ぶ楽しさや学ぶことの意義を理解するように促している。また、資料配布やLMSを活用したフィードバック等、授業外に行うべき学修活動（準備学修・事後学修）を促進する取組を授業担当者へ奨励している。これらの取組は、学務部教務課が実施する授業アンケートにおいて学修行動（予復習や自主学習への取り組みも含めこの授業に意欲的・積極的に取り組んだか、関連する内容により興味を持ちさらに学びたいと感じたか）として把握し、授業運営の改善に役立てている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	学務部教務課が実施する授業アンケートにおいて、「分かりやすさ」（教員の話し方や説明は分かりやすかったか、教材の使い方は適切だったか、質問ができるような機会や工夫があったか）や授業内容の理解度を測り、授業担当者への反省材料とするとともに、同データは桜花学園大学共通教育委員会、桜花学園大学合同教務委員会、桜花学園大学FD委員会にて評価・改善のための資料として活用している。また、授業担当者は授業計画において小テストや課題を設定し、学生個々の理解度を把握したり、フィードバックや解説を行うことで学生の理解を促進する工夫をしている。

2024年度シラバス

科目名:OK41K1101 統計学	担当者:高瀬 慎二	開講学科等	桜大共通
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択必須

授業概要と方法

現代では多種多様な数値データが蓄積され、課題解決に活用されている。また、研究論文を読み解く、あるいは調査研究を行う際などに統計学の知識を活用する場面もある。本講義では、数値データの処理や解釈に必要な統計の知識や理論を学び、現代の多様な課題を発見、分析、解決し、社会に貢献できる能力を身に付けること、さらには「総合的な人間力」を養うことを目的とする。講義ではMicrosoft ExcelやWeb上の統計ソフトを利用し、データ分析の演習課題も行う。

授業の到達目標

数値要約の概念について理解し、各種統計量を計算により求めることができる。数値データの種類に応じて適切な図や表で示すことができる (DP)。数値データに応じた適切な統計的分析を自身のパソコンで行える。

【到達目標と深く関連する学科DP】

○高い教養に資する知識・理解

◎課題発見・分析・解決・発信等の汎用的技能

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

教科書や配布資料の該当箇所を確認する、演習課題を行うなどにより平均して4時間程度の授業外での予習・復習が必要である。

評価方法

確認テスト (60%)、授業内の課題 (40%)

課題のフィードバックとして授業内課題については解答を当該授業後にウェブ上で提示する。また、特に理解が難しかったと思われる設問は次回授業時に解説を行う。確認テストについては希望者に得点を開示する。

教科書

荒川俊也「Excelによるやさしい統計解析」オーム社、ISBN : 978-4274226120

参考図書

南風原朝和「心理統計学の基礎」有斐閣アルマ、ISBN : 978-4641121607

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

講義時間外での質問は、メールで行うこと。メールアドレスは、講義中に開示する。

01 統計学についての概要、データの種類 (尺度水準)

02 度数分布表、ヒストグラム

03 代表値、散布度

04 表やグラフの種類とその特徴

05 母集団と標本、正規分布

06 標準化

07 母集団の推定、不偏推定量

08 区間推定

09 統計的仮説検定の考え方、1つの平均値の検定

10 2つの平均値の検定 (t検定)

11 3つ以上の平均値の検定 (分散分析)

12 相関 (2変数の関係)

13 回帰分析 (単回帰分析)

14 回帰分析 (重回帰分析) と講義全体の振り返り

15 確認テストとまとめ

16 なし

2024年度シラバス

科目名:OK42K1101 社会調査法	担当者:南 裕一郎	開講学科等	桜大共通
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須・選択	選択必須

授業概要と方法

本講義では、社会調査 (social research) の理論と技法について学ぶ。社会調査は「社会」のすがたを明らかにする手段です。明確な問題意識に基づいて仮説を立て、調査方法の選定、調査の設計、実査、データの分析と命題の提示にいたるまでのプロセスを科学的・客観的に処理する方法について詳説します。

社会調査には、量的調査と質的調査という2つの調査タイプがあります。社会のすがたを数量的に把握するには量的調査が適しており、個人や集団の多様性を洞察的に把握するには質的調査が適しています。調査方法が何であれ、調査を実施する私たち自身もその社会の一員であることを忘れてはいけません。「社会調査する」ことは、自分とは何か、自分と社会はどうつながっているのかについて考えるきっかけにもなるのです (桜花学「社会を知る」「人間を知る」「自分を知る」に該当)。

授業の到達目標

【リサーチ・リテラシー】社会調査の理論・方法論・実践的技法を修得し、卒業論文などでアンケート調査、インタビュー調査などを実施できるようにするとともに、論文やレポート、報告書等の作成に必要な論理的な文章の書きかた・構成のしかたについても身につける。(DP)

【人間や社会への洞察力】日常生活を通して社会のしくみへの思考力・想像力を高め、社会に関わる集団や人間がいかに多様であるかを知ることができるようになる。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】

◎課題発見・分析・解決・発信等の汎用的技能

○価値観・態度・志向性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

(1) 日頃からマスメディア、インターネットなどにあふれているさまざまな調査 (アンケート、インタビューなど) について目配りし、私たちの社会がどうなっているのか、どんな仕組みで動いているのかについて考える習慣をつけること。また、授業で配布された印刷教材をかならず事前・事後に読んでおくように。

(2) ほぼ毎回、社会調査について取り上げた番組を視聴します。ネット上で視聴可能なものもあるので、授業内で観た以外の回についても観てみてください。

(3) 授業内でパソコン (おもにExcel) を使用する回があります (3回程度)。日ごろから積極的にExcelを使うように心がけてください。(各回の自主学習時間: 240分)

評価方法

①期末レポート: 70% (各自で社会調査を実施し、その調査報告書を期末レポートとして提出する)、②授業への参加態度: 10%、③授業内で課す課題 (5~6回程度): 20%、の評価を合算し、総合的に評価します。

【授業内の課題等に対するフィードバック方法】

1. 課題については、次の授業内で正答を示します。また提出された回答を提示し、個別にコメントを加えていきます。
2. 期末レポートに向けて作成する調査計画については、メール等で個別に指導・アドバイスをおこないます。
3. 提出された期末レポートについては、全体的な総括をメール等でおこない、希望者に対しては個別の講評をしていきます。

教科書

市販テキストは使用せず、オリジナルの印刷教材を毎回配布します。

参考図書

授業内で適宜紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

4年次に卒業研究でアンケートやインタビュー、観察などの「社会調査」を実施しようと考えている人はぜひとも受講してください。なお、期末レポートは毎回の授業への出席がなければ到底作成できないので、意欲ある人の積極的な参加を要件とします。

担当者との授業時間外のコミュニケーション (授業内容への質問を含む) は、基本的にメールまたはMoodle等でおこなってください。

01	社会調査の目的
02	社会調査の意義・歴史・課題
03	社会調査の手順①: 問題意識をもち、調査テーマを決定する
04	社会調査の手順②: 仮説を構築し、調査方法を決定する
05	社会調査の手順③: 収集データを分析する
06	社会調査の手順④: 分析結果の解釈と調査結果の作成
07	因果関係と相関関係
08	統計データをもとにさまざまな分析をおこなう (e-Statを使用)
09	量的データ収集の方法——サンプリング (単純無作為抽出、層化抽出、多段抽出など)
10	質問紙調査票を作成する (ワーディングの重要性)
11	データ入力とさまざまな統計分析をおこなう (Excelでのクロス集計、グラフの作成)
12	観察調査の実践 (フィールドワーク、参与観察、行動観察など)
13	インタビュー調査の技法 (アポイントメントの取り方、質問の仕方、インタビューの練習)
14	レポート・論文の書き方
15	リサーチ・リテラシーを身につけるためには
16	なし

2024年度シラバス

科目名:OK42K1102 情報社会論	担当者:佐久間 潔	開講学科等	桜大共通
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択必須

授業概要と方法

本講義は、「社会人基礎力」を自ら育み、桜花学園大学の建学の精神である社会の発展に寄与する「信念のある女性」としての基礎を培うための科目群に位置づけられている。
急激に情報化が進む現代社会の中では情報を自ら取得してリアルタイムで変化していく環境に対応するために活用していくことが必要である。授業の中でコンピュータを利用して小テストを実施する。また、情報社会と情報について学んだ結果、自分たちが将来を含んで情報社会とどのように接したら良いかを検討し、プレゼンテーションする。

授業の到達目標

身の回りの情報化を意識し、今後変化していく社会の中でも情報の適切な活用ができるようになる。

【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】

◎課題発見・分析・解決・発信等の汎用的技能

○価値観・態度・志向性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

普段利用しているデバイス(パソコン・スマートフォン・ソーシャル・メディアなど)について、自分の生活を豊かにするためのより便利な使い方がないかを探す。

各授業について必要時間(1時間)

評価方法

平常点(授業態度・プレゼンテーション等)30%、レポート・テスト等70%の割合で評価する。

課題等に対するフィードバックについては、印刷物などで返却する。

教科書

特になし、資料は適宜配布

参考図書

必要に応じて適宜提示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

・毎回、パソコン使用します。

・質問等はメール(sakuma@ohkagakuen-u.ac.jp)または、情報総合センターで受け付けます

01	情報化社会とは(オリエンテーションを含む)
02	情報メディアとその変遷(1) メディアとは、身体・文字・活字メディア
03	情報メディアとその変遷(2) 映像・電気・電波メディア
04	情報メディアとその変遷(3) デジタルメディア
05	情報の取得・加工・利用
06	コンピュータ社会とネットワーク社会
07	コンピュータ社会からデジタルネットワーク社会へ
08	情報社会の発展
09	成熟する情報社会
10	情報社会における社会情報システム
11	情報社会と生活
12	情報社会と情報公開
13	情報社会と情報財産
14	情報社会と情報保護
15	情報社会と犯罪・倫理
16	試験(moodleまたはForms)

保育学部保育学科教育課程表(2024年度入学者)

区分		授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保の免許・資格を取得する場合			1年		2年		3年		4年	
								小	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
全学共通科目	教養科目 (桜花学)	自分を知る ライフコース論	OK11L0001	2	講義		必修2				○							
		ジェンダー論	OK11L0002	2	講義					△	○							
		自分と家族	OK11L0003	2	講義						○							
		人間を知る 芸術の世界	OK11L0101	2	講義		選択必修2				○							
		文学の世界	OK11L0102	2	講義						○							
		心の探求	OK11L0103	2	講義						○							
		生き方の探求	OK11L0104	2	講義						○							
		社会を知る 生活と経済	OK12L0201	2	講義		選択必修2					○						
		地域社会	OK12L0202	2	講義							○						
		人間と歴史	OK12L0203	2	講義							○						
		異文化理解	OK12L0301	2	講義		選択必修2					○						
		日本の文化	OK12L0302	2	講義							○						
		国際関係論	OK12L0303	2	講義							○						
		グローバル社会と宗教	OK12L0304	2	講義							○						
	健康・スポーツ関係 科学的スキル・情報リテラシー関係	環境の科学	OK21L0401	2	講義		必修2						○					
		食と生命の科学	OK21L0402	2	講義								○					
		生き物の社会	OK21L0403	2	講義								○					
		スポーツ健康論	OK12K1001	2	講義		選択必修1	○	○	○		○						
		スポーツⅠ	OK22K1001	1	実技			△	△	△				○				
		スポーツⅡ	OK22K1002	1	実技									○				
		統計学	OK21K1101	2	講義		選択必修2							○				
		社会調査法	OK22K1101	2	講義									○				
		情報社会論	OK22K1102	2	講義								○					
		コンピュータⅠ	OK11K1101	1	演習	1		○	○	○	○							
		コンピュータⅡ	OK12K1101	1	演習	1		○	○	○		○						
	社会貢献・職業体験関係 グローバル化に対応したコミュニケーションスキル関係 総合科目	NGO・NPO論	OK31K1201	2	講義		選択必修2								○			
		現代社会と企業	OK31K1202	2	講義										○			
		地域協力演習	OK31K1203	2	演習										○			
		インターンシップ(国内)A	OK21K1201	1	演習								○	○	○	○	○	○
		インターンシップ(国内)B	OK21K1202	2	演習								○	○	○	○	○	○
		インターンシップ(海外)A※	OK12K1201	1	演習						○	○	○	○	○	○	○	○
		インターンシップ(海外)B※	OK12K1202	2	演習							○	○	○	○	○	○	○
		インターンシップ(海外)C※	OK12K1203	3	演習							○	○	○	○	○	○	○
		インターンシップ(海外)D※	OK12K1204	4	演習							○	○	○	○	○	○	○
		ボランティア(海外)	OK12K1205	2	実技							○	○	○	○	○	○	○
		海外英語資格実習	OK21K1203	2	実技								○	○	○	○	○	○
		総合英語Ⅰ	OK11K1301	1	演習	1		○	○	○	○							
		総合英語Ⅱ	OK12K1301	1	演習	1		○	○	○		○						
		総合英語Ⅲ	OK21K1301	1	演習		1						○					
		総合英語Ⅳ	OK22K1301	1	演習		1							○				
	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ ポルトガル語と文化Ⅰ ポルトガル語と文化Ⅱ スペイン語と文化Ⅰ スペイン語と文化Ⅱ フランス語と文化Ⅰ フランス語と文化Ⅱ 中国語と文化Ⅰ 中国語と文化Ⅱ 中国語と文化Ⅲ 中国語と文化Ⅳ 韓国語と文化Ⅰ 韓国語と文化Ⅱ 韓国語と文化Ⅲ 韓国語と文化Ⅳ	英語コミュニケーションⅠ	OK31K1301	1	演習		1								○			
		英語コミュニケーションⅡ	OK32K1301	1	演習		1									○		
		英語コミュニケーションⅢ	OK41K1301	1	演習		1										○	
		英語コミュニケーションⅣ	OK42K1301	1	演習		1											○
		ポルトガル語と文化Ⅰ	OK11K1302	1	演習		1言語2単位以上				○							
		ポルトガル語と文化Ⅱ	OK12K1302	1	演習							○						
		スペイン語と文化Ⅰ	OK11K1303	1	演習						○							
		スペイン語と文化Ⅱ	OK12K1303	1	演習							○						
		フランス語と文化Ⅰ	OK11K1304	1	演習						○							
		フランス語と文化Ⅱ	OK12K1304	1	演習							○						
		中国語と文化Ⅰ	OK11K1305	1	演習						○							
		中国語と文化Ⅱ	OK12K1305	1	演習							○						
		中国語と文化Ⅲ	OK21K1302	1	演習								○					
		中国語と文化Ⅳ	OK22K1302	1	演習									○				
		韓国語と文化Ⅰ	OK11K1306	1	演習						○							
		韓国語と文化Ⅱ	OK12K1306	1	演習							○						
		韓国語と文化Ⅲ	OK21K1303	1	演習								○					
		韓国語と文化Ⅳ	OK22K1303	1	演習									○				
	総合科目	日本国憲法	OK22K1401	2	講義		2	○	○					○				
		海外研修A	OK21K1401	2	実習		2						○	○	○	○	○	○
		海外研修B	OK21K1402	4	実習		4						○	○	○	○	○	○
		基礎演習Ⅰ	OK11K1401	1	演習	1				○	○							
		基礎演習Ⅱ	OK12K1401	1	演習	1				○		○						
	エンブレム シンボル メンター	①他学部履修科目 ②大学間連携科目 ③愛知学長懇話会科目 ④資格認定	OK00K2001	6			6											

エクステンション科目については別に定める。
※インターンシップ(海外)として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。

保育学部保育学科教育課程表(2024年度入学者)

区分			授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保の免許・資格を取得する場合				1 年		2 年		3 年		4 年	
									小	特支	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科目	教育・保育の内容・方法に関する科目	教育・保育の本質・目的に関する科目	教育原理	OH12S0001	2	講義	2		○		○	○		○						
			保育原理	OH12S0002	2	講義	2					○		○						
			子ども家庭福祉	OH12S0003	2	講義	2					○		○						
			保育・教育・福祉の制度と理論Ⅰ	OH31S0001	1	演習		1									○			
			保育・教育・福祉の制度と理論Ⅱ	OH32S0001	1	演習		1										○		
			社会福祉	OH11S0001	2	講義	2					○	○							
			子ども家庭支援論	OH22S0001	2	講義	2					○				○				
			社会的養護Ⅰ	OH21S0001	2	講義	2					○				○				
			社会的養護Ⅱ	OH22S0002	1	演習		1				○				○				
			保育者論	OH11S0002	2	講義	2				○	○	○							
			教育職論	OH21S0002	2	講義	2		○						○					
			教育制度	OH41S0001	2	講義	2		○		○	△							○	
		教育に関する科目	発達心理学	OH11S0101	2	講義	2		△		○	○	○							
			子ども家庭支援の心理学	OH32S0101	2	講義		2				○						○		
			子ども理解の理論と方法	OH21S0101	2	演習	2				○	○			○					
			教育心理学	OH31S0101	2	講義	2		○		○	△					○			
			特別支援基礎論	OH21S0102	1	講義	1		○		○	△			○					
			保幼小連携基礎論	OH11S0102	1	講義	1		△		△	△	○							
			保幼小連携総論	OH41S0101	1	講義	1		△		△	△							○	
			教育・保育学特講Ⅰ	OH32S0102	1	講義		1										○		
			教育・保育学特講Ⅱ	OH41S0102	1	講義		1											○	
			教育課程論	OH22S0201	2	講義	2		○							○				
		専攻教育科目	保育カリキュラム論	OH32S0201	2	講義	2				○	○						○		
			保育内容総論	OH11S0201	2	演習	2				○	○	○							
			保育内容指導法（健康）	OH32S0202	2	演習	2				○	○						○		
			保育内容指導法（人間関係）	OH22S0202	2	演習	2				○	○				○				
			保育内容指導法（環境）	OH12S0201	2	演習	2				○	○		○						
			保育内容指導法（言葉）	OH12S0202	2	演習	2				○	○		○						
			保育内容指導法（表現）	OH22S0203	2	演習	2				○	○				○				
			国語科教育法	OH22S0204	2	講義		2	○							○				
			社会科教育法	OH32S0203	2	講義		2	○									○		
			算数科教育法	OH22S0205	2	講義		2	○							○				
			理科教育法	OH32S0204	2	講義		2	○							○				
			生活科教育法	OH22S0206	2	講義		2	○							○				
			音楽科教育法	OH42S0201	2	講義		2	○											○
			図画工作科教育法	OH22S0207	2	講義		2	○							○				
			家庭科教育法	OH42S0202	2	講義		2	○											○
			体育科教育法	OH32S0205	2	講義		2	○									○		
			英語科教育法	OH42S0203	2	講義		2	○											○
			道德教育の指導法	OH21S0201	2	講義		2	○						○					
			特別活動・総合的な学習の時間の指導法	OH41S0201	2	講義		2	○										○	
			生徒・進路指導論	OH42S0204	2	講義		2	○											○
			教育の方法	OH21S0202	2	講義	2		○		○				○					
			ICT活用の理論と実践	OH21S0203	1	講義		1	○						○					
			幼児と健康	OH31S0201	1	演習		1			○	○						○		
			幼児と人間関係	OH21S0204	1	演習		1			○	○			○					
			幼児と環境	OH11S0202	1	演習		1			○	○	○							
			幼児と言葉	OH11S0203	1	演習		1			○	○	○							
			幼児と表現	OH21S0205	1	演習		1			○	○			○					
			国語	OH21S0206	1	講義		1	○						○					
			社会	OH31S0202	1	講義		1	○								○			
			算数	OH21S0207	1	講義		1	○						○					
			理科	OH31S0203	1	講義		1	○								○			
			生活	OH21S0208	1	講義	1		○						○					
			音楽	OH41S0202	1	演習		1	○										○	
			図画工作	OH21S0209	1	演習		1	○						○					
			家庭	OH41S0203	1	演習		1	○										○	
			体育	OH31S0204	1	演習		1	○								○			
			英語	OH41S0204	1	演習		1	○										○	
			幼児音楽ⅠA	OH11S0204	1	演習		1			△	△	○							
			幼児音楽ⅠB	OH12S0203	1	演習		1			△	△		○						
			幼児音楽Ⅱ	OH21S0210	1	演習		1			△	△			○					
			幼児音楽Ⅲ	OH31S0205	1	演習		1			△	△					○			
			ピアノ演習ⅠA	OH11S0205	1	演習		1					○							
			ピアノ演習ⅠB	OH12S0204	1	演習		1						○						
			ピアノ演習Ⅱ	OH22S0208	1	演習		1								○				
			表現の探求（造形）	OH31S0206	1	演習		1									○			
			表現の探求（音楽）	OH41S0205	1	演習		1											○	
			幼児造形Ⅰ	OH11S0206	1	演習		1			△	△	○							
			幼児造形Ⅱ	OH12S0205	1	演習		1			△	△		○						
			幼児体育Ⅰ	OH11S0207	1	演習		1			△	△	○							
			幼児体育Ⅱ	OH41S0206	1	演習		1											○	
			ネイチャーワーク	OH31S0207	1	演習		1									○			
			児童文化	OH21S0211	1	演習		1			△	△			○					
			子どもの保健	OH31S0208	2	講義	2					○					○			
			子どもの健康と安全	OH32S0206	1	演習		1				○						○		
			子どもの食と栄養Ⅰ	OH31S0209	2	演習	2					○						○		
			子どもの食と栄養Ⅱ	OH32S0207	2	演習		2				△						○		
			障害児保育	OH31S0210	2	講義		2				○					○			
			乳児保育Ⅰ	OH22S0209	2	講義	2					○				○				
			乳児保育Ⅱ	OH31S0211	1	演習		1				○					○			
			保育環境マネジメント	OH41S0207	1	演習		1											○	
			子ども学演習	OH31S0212	1	演習		1									○			
			教育相談A	OH42S0205	1	講義	1		○		○									○
			教育相談B	OH42S0206	1	講義		1	○											○
			子育て支援	OH41S0208	1	演習	1					○							○	
			親と子どもの発達支援	OH32S0208	1	演習		1										○		
			チーム保育論	OH42S0207	1	演習		1												○
			医療保育Ⅰ	OH32S0209	1	講義		1										○		
			医療保育Ⅱ	OH41S0209	1	演習		1											○	
			インクルーシブ保育論	OH32S0210	1	講義		1										○		
			多文化共生保育・教育論	OH32S0211	1	講義		1										○		

区分	授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保の免許・資格を取得する場合				1年		2年		3年		4年	
							小	特支	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	特別支援教育に関する科目	特別支援教育論	0H22S0301	2	講義	2		○						○				
		知的障害児の心理・生理・病理	0H31S0301	2	講義	2		○							○			
		肢体不自由児の心理・生理・病理	0H31S0302	2	講義	2		○							○			
		病弱児の心理・生理・病理	0H31S0303	2	講義	2		○							○			
		知的障害教育論Ⅰ	0H32S0301	2	講義	2		○								○		
		知的障害教育論Ⅱ	0H41S0301	2	講義	2		○									○	
		肢体不自由教育論Ⅰ	0H32S0302	2	講義	2		○								○		
		肢体不自由教育論Ⅱ	0H42S0301	2	講義	2		○										○
		病弱教育論	0H32S0303	2	講義	2		○								○		
		視覚障害児の心理・生理・病理	0H31S0304	1	講義	1		○							○			
		聴覚障害児の心理・生理・病理	0H42S0302	1	講義	1		○										○
		発達障害の理解	0H41S0302	1	講義	1		○									○	
		視覚障害教育論	0H31S0305	1	講義	1		○							○			
		聴覚障害教育論	0H42S0303	1	講義	1		○										○
		重複障害等教育論	0H41S0303	1	講義	1		○									○	
	体験学習科目	教育実習Ⅰ	0H12S1001	1	実習	1			○			○						
		教育実習Ⅱ	0H32S1001	3	実習	3			○							○		
		教育実習Ⅲ	0H41S1001	3	実習	3	○										○	
		教育実習Ⅳ	0H42S1001	2	実習	2		○										○
		教育実習指導Ⅰ	0H11S1001	1	演習	1			○		○							
		教育実習指導Ⅱ	0H32S1002	1	演習	1			○							○		
		教育実習指導Ⅲ	0H41S1002	1	演習	1	○										○	
		教育実習指導Ⅳ	0H41S1003	1	演習	1		○									○	
		教職実践演習（幼・小）	0H42S1002	2	演習	2	○		○									○
		保育実習Ⅰ（保育所）	0H31S1001	2	実習	2				○					○			
		保育実習Ⅰ（施設）	0H22S1001	2	実習	2				○				○				
		保育実習Ⅱ	0H41S1004	2	実習	2				△							○	
		保育実習Ⅲ	0H41S1005	2	実習	2				△							○	
		保育実習指導Ⅰ（保育所）	0H31S1002	1	演習	1				○					○			
		保育実習指導Ⅰ（施設）	0H22S1002	1	演習	1				○				○				
		保育実習指導Ⅱ	0H41S1006	1	演習	1				△							○	
		保育実習指導Ⅲ	0H41S1007	1	演習	1				△							○	
		保育実践演習	0H42S1003	2	演習	2				○								○
		学校インターンシップ指導	0H21S1001	1	演習	1	○						○					
		学校インターンシップ	0H22S1003	1	実習	1	○							○				
		海外幼児教育インターンシップ	0H12S1002	2	実習	2						○						
	修・総合的な学 研究科目	総合演習ⅠA	0H21S2001	1	演習	1							○					
		総合演習ⅠB	0H22S2001	1	演習	1								○				
		総合演習ⅡA	0H31S2001	1	演習	1									○			
		総合演習ⅡB	0H32S2001	1	演習	1										○		
		卒業研究演習Ⅰ	0H41S2001	1	演習	1											○	
		卒業研究演習Ⅱ	0H42S2001	1	演習	1												○
		卒業研究	0H42S2002	2	演習	2												○

保育学部 国際教養こども学科 教育課程表(2024年度入学者)

区分		授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保の免許・資格を取得する場合			1年		2年		3年		4年	
								小	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通教育科目	教養科目（桜花学）	自分を知る	ライフコース論	OK11L0001	2	講義	必修 選択2				○							
			ジェンダー論	OK11L0002	2	講義				○	○							
			自分と家族	OK11L0003	2	講義					○							
		人間を知る	芸術の世界	OK11L0101	2	講義	選択必修2				○							
			文学の世界	OK11L0102	2	講義					○							
			心の探求	OK11L0103	2	講義					○							
			生き方の探求	OK11L0104	2	講義					○							
		社会を知る	生活と経済	OK12L0201	2	講義	選択必修2					○						
			地域社会	OK12L0202	2	講義						○						
			人間と歴史	OK12L0203	2	講義						○						
		世界を知る	異文化理解	OK12L0301	2	講義	選択必修2					○						
			日本の文化	OK12L0302	2	講義						○						
			国際関係論	OK12L0303	2	講義						○						
			グローバル社会と宗教	OK12L0304	2	講義						○						
	自然を知る		環境の科学	OK21L0401	2	講義	必修 選択2						○					
			食と生命の科学	OK21L0402	2	講義							○					
			生き物の社会	OK21L0403	2	講義							○					
	健康・スポーツ関係科目		スポーツ健康論	OK12K1001	2	講義	選択必修1	○	○	○		○						
			スポーツⅠ	OK22K1001	1	実技		△	△	△				○				
			スポーツⅡ	OK22K1002	1	実技								○				
	リテラシスキル・情報関係		統計学	OK41K1101	2	講義	選択必修2						○				○	
			社会調査法	OK42K1101	2	講義								○				○
			情報社会論	OK42K1102	2	講義								○				○
			コンピュータⅠ	OK11K1101	1	演習	1	○	○	○	○							
			コンピュータⅡ	OK12K1101	1	演習	1	○	○	○		○						
			NGO・NPO論	OK41K1401	2	講義	選択必修2										○	
	社会貢献・職業体験関係		現代社会と企業	OK41K1402	2	講義											○	
			地域協力演習	OK41K1403	2	演習											○	
			インターンシップ（国内）A	OK21K1201	1	演習						○	○				○	○
			インターンシップ（国内）B	OK21K1202	2	演習						○	○				○	○
			インターンシップ（海外）A※	OK12K1201	1	演習						○	○				○	○
			インターンシップ（海外）B※	OK12K1202	2	演習						○	○				○	○
			インターンシップ（海外）C※	OK12K1203	3	演習						○	○				○	○
			インターンシップ（海外）D※	OK12K1204	4	演習						○	○				○	○
			ボランティア（海外）	OK12K1205	2	実習						○	○	○			○	○
	基礎科目		海外英語資格実習	OK21K1203	2	実習							○	○			○	○
		グローバル化に対応したコミュニケーションスキル関係	総合英語Ⅰ	OK11K1301	1	演習	1	○	○	○	○							
			総合英語Ⅱ	OK12K1301	1	演習	1	○	○	○		○						
			総合英語Ⅲ	OK21K1301	1	演習	1						○					
			総合英語Ⅳ	OK22K1301	1	演習	1							○				
			英語コミュニケーションⅠ	OK41K1301	1	演習	1										○	
			英語コミュニケーションⅡ	OK42K1301	1	演習	1											○
			英語コミュニケーションⅢ	OK41K1303	1	演習	1										○	
			英語コミュニケーションⅣ	OK42K1304	1	演習	1											○
			ポルトガル語と文化Ⅰ	OK11K1302	1	演習	1言語2単位以上				○							
			ポルトガル語と文化Ⅱ	OK12K1302	1	演習						○						
			スペイン語と文化Ⅰ	OK11K1303	1	演習					○							
			スペイン語と文化Ⅱ	OK12K1303	1	演習						○						
			フランス語と文化Ⅰ	OK11K1304	1	演習					○							
			フランス語と文化Ⅱ	OK12K1304	1	演習						○						
			中国語と文化Ⅰ	OK11K1305	1	演習					○							
			中国語と文化Ⅱ	OK12K1305	1	演習						○						
			中国語と文化Ⅲ	OK21K1302	1	演習							○					
			中国語と文化Ⅳ	OK22K1302	1	演習								○				
			韓国語と文化Ⅰ	OK11K1306	1	演習					○							
			韓国語と文化Ⅱ	OK12K1306	1	演習						○						
			韓国語と文化Ⅲ	OK21K1303	1	演習							○					
			韓国語と文化Ⅳ	OK22K1303	1	演習								○				
	総合科目		日本国憲法	OK22K1401	2	講義	2	○	○					○				
			海外研修A	OK21K1401	2	実習	2						○	○			○	○
			海外研修B	OK21K1402	4	実習	4						○	○			○	○
			基礎演習Ⅰ	OK11K1401	1	演習	1			○	○							
			基礎演習Ⅱ	OK12K1401	1	演習	1			○		○						
	エンゲージメント	①他学部履修科目 ②愛知学長懇話会科目 等		6			6											

※ インターンシップ（海外）として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。

保育学部 国際教養こども学科 教育課程表 (2024年度入学者)

区分		授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	幼・保の免許・資格 を取得する場合		1年		2年		3年		4年	
								幼	保	前	後	前	後	前	後	前	後
専門 教育 科目	こども 教育 科目	保育原理	OK11S0001	2	講義	2			○	○							
		教育原理	OK12S0002	2	講義	2		○	○		○						
		子ども家庭福祉	OK12S0003	2	講義	2			○		○						
		社会福祉	OK11S0004	2	講義	2			○	○							
		子ども家庭支援論	OK22S0005	2	講義	2			○				○				
		社会的養護Ⅰ	OK21S0006	2	講義		2		○			○					
		社会的養護Ⅱ	OK22S0007	1	演習		1		○				○				
		保育者論	OK12S0008	2	講義	2		○	○		○						
		教育制度	OK41S0009	2	講義	2		○	△							○	
		発達心理学	OK11S0010	2	講義	2		○	○	○							
		子ども家庭支援の心理学	OK22S0011	2	講義	2			○				○				
		子ども理解の理論と方法	OK21S0012	2	演習	2		○	○			○					
		教育心理学	OK42S0013	2	講義	2		○	△							○	
		特別支援基礎論	OK21S0014	1	講義		1	○	△			○					
		保育カリキュラム論	OK42S0015	2	講義	2		○	○								○
		保育内容総論	OK11S0016	2	演習	2		○	○	○							
		保育内容指導法（健康）	OK22S0101	2	演習	2		○	○				○				
		保育内容指導法（人間関係）	OK22S0102	2	演習	2		○	○				○				
		保育内容指導法（環境）	OK12S0103	2	演習	2		○	○		○						
		保育内容指導法（言葉）	OK12S0104	2	演習	2		○	○		○						
		保育内容指導法（表現）	OK22S0105	2	演習	2		○	○				○				
		教育の方法	OK21S0017	2	講義	2		○				○					
		幼児と健康	OK21S0201	1	演習		1	○	○			○					
		幼児と人間関係	OK21S0202	1	演習		1	○	○			○					
		幼児と環境	OK11S0003	1	演習		1	○	○	○							
		幼児と言葉	OK11S0004	1	演習		1	○	○	○							
		幼児と表現	OK21S0005	1	演習		1	○	○			○					
		幼児音楽A	OK11S0006	1	演習		1	△	△	○							
		幼児音楽B	OK12S0007	1	演習		1	△	△		○						
		幼児音楽C	OK21S0011	1	演習		1					○					
		幼児音楽D	OK22S0012	1	演習		1						○				
		幼児造形A	OK11S0008	1	演習		1	△	△	○							
		幼児造形B	OK12S0008	1	演習		1	△	△		○						
		幼児体育A	OK11S0009	1	演習		1	△	△	○							
		幼児体育B	OK12S0010	1	演習		1	△	△		○						
		児童文化	OK41S011	2	演習		2	△	○							○	
		子ども保健	OK21S0018	2	講義		2		○			○					
		子どもの健康と安全	OK22S0019	1	演習		1		○				○				
		子どもの食と栄養	OK21S0020	2	演習		2		○			○					
		障害児保育	OK22S0021	2	演習		2		○			○					
		乳児保育Ⅰ	OK22S0022	2	講義		2		○			○					
		乳児保育Ⅱ	OK41S0023	1	演習		1		○							○	
		教育相談	OK42S0024	1	講義		1	○									○
		子育て支援	OK41S0025	1	演習	1			○							○	
		海外の保育	OK21S0301	2	講義		2		○				○				
	国際 教養 科目	多文化共生研究	OK11S1001	2	講義	2		△		○							
		地域研究Ⅰ	OK22S1002	2	講義	2							○				
		地域研究Ⅱ	OK11S1003	2	講義					○							
		地域研究Ⅲ	OK21S1004	2	講義								○				
		地域研究Ⅳ	OK21S1005	2	講義								○				
		地域研究Ⅴ	OK22S1006	2	講義								○				
		地域研究Ⅵ	OK21S1007	2	講義							○					
		ことばのメカニズム	OK41S1101	2	講義	2										○	
		Teaching English for Children	OK11S1201	2	講義		2			○							
		チームビルディング実践	OK21S1102	2	講義		2					○					
		Study Abroad Preparation	OK22S1301	1	演習	1							○				
		Basic Communication in EnglishⅠ	OK11S1103	1	演習	1				○							
		Basic Communication in EnglishⅡ	OK12S1104	1	演習	1					○						
		Intermediate Communication in EnglishⅠ	OK21S1105	1	演習	1						○					
		Intermediate Communication in EnglishⅡ	OK22S1106	1	演習	1							○				
		海外語学研修	OK33S1302	5	演習	5								○	○		
		海外保育留学	OK33S1303	10	実習	10								○	○		
		国際教養総論	OK41S1304	2	演習	2										○	
	実習 科目	教育実習入門	OK12S2001	1	実習	1		○			○						
		教育実習Ⅰ	OK22S2003	2	実習		2	○					○				
		教育実習Ⅱ	OK42S2005	2	実習		2	○								○	
		教育実習指導Ⅰ	OK21S2002	1	講義		1	○				○					
		教育実習指導Ⅱ	OK41S2004	1	講義		1	○								○	
		教職実践演習（幼）	OK42S2006	2	演習		2	○									○
		保育実践演習	OK41S2109	2	演習		2		○							○	
		保育実習Ⅰ（保育所）	OK32S2102	2	実習		2		○			○					
		保育実習Ⅰ（施設）	OK32S2104	2	実習		2		○						○		
		保育実習Ⅱ	OK41S2106	2	実習		2		△							○	
		保育実習Ⅲ	OK41S2108	2	実習		2		△							○	
		保育実習指導Ⅰ（保育所）	OK32S2101	1	演習		1		○			○					
		保育実習指導Ⅰ（施設）	OK32S2103	1	演習		1		○						○		
		保育実習指導Ⅱ	OK41S2105	1	演習		1		△							○	
		保育実習指導Ⅲ	OK41S2107	1	演習		1		△							○	
		海外保育フィールド・スタディ	OK11S2201	2	実習	2				○							
		海外幼児教育インターンシップ	OK12S2202	2	実習		2				○						
	演習 科目	総合演習A	OK21S3001	1	演習	1						○					
		総合演習B	OK22S3002	1	演習	1							○				
		卒業研究演習Ⅰ	OK41S3101	1	演習	1										○	
		卒業研究演習Ⅱ	OK42S3102	1	演習	1											○
		卒業研究	OK42S3103	2	演習	2											○

学芸学部 英語学科 教育課程表 (2023年度入学生)

区分		授業科目名	科目ナンバー	必修	選択	自由	配当学年								中・高の免許 取得する場合	日本語教 師養成必 須単位	卒業要件 単位数
							1年		2年		3年		4年				
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通教育科目	教養科目	現代社会と女性	OK11L0001		2		○									2	
		女性とジェンダー	OK11L0002		2		○										
		女性と家庭教育	OK11L0003		2		○									2	
		芸術の世界	OK11L0101		2		○										
		文学の世界	OK11L0102		2		○										2
		心の探求	OK11L0103		2		○										
		生き方の探求	OK11L0104		2		○										
		生活と経済	OK12L0201		2			○								2	
		地域社会	OK12L0202		2			○									
		人間と歴史	OK12L0203		2			○									
		異文化理解	OK12L0301		2			○							2	2	
		日本の文化	OK12L0302		2			○							2		
		国際関係論	OK12L0303		2			○									
		グローバル社会と宗教	OK12L0304		2			○								2	
		環境の科学	OK21L0401		2				○								
		食と生命の科学	OK21L0402		2				○								
		生き物の社会	OK21L0403		2				○							1	
	スポーツ健康論	OK12K1001		2			○										
	スポーツⅠ	OK22K1001		1					○					2			
	スポーツⅡ	OK22K1002		1					○						1		
	統計学	OK21K1101		2					○								
	社会調査法	OK22K1101		2						○							
	情報社会論	OK22K1102		2						○					1		
	コンピュータⅠ	OK11K1101		1			○						1				
	コンピュータⅡ	OK12K1101		1				○					1				
	コンピュータⅢ	OK21K1101		1					○						30		
	コンピュータⅣ	OK22K1101		1						○							
	NGO・NPO論	OK31K1201		2							○						
	現代社会と企業	OK31K1202		2							○				1		
	地域協力演習	OK31K1203		2							○						
	インターンシップ(国内) A	OK21K1201		1					○	○	○	○	○	○			
	インターンシップ(国内) B	OK21K1202		2					○	○	○	○	○	○	1		
	インターンシップ(海外) A	OK12K1201		1		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	インターンシップ(海外) B	OK12K1202		2			○	○	○	○	○	○	○	○			
	インターンシップ(海外) C	OK12K1203		3				○	○	○	○	○	○	○	2		
	インターンシップ(海外) D	OK12K1204		4				○	○	○	○	○	○	○			
	ボランティア(国内)	OK12K1205		1				○	○	○	○	○	○	○			
	ボランティア(海外)	OK12K1206		2				○	○	○	○	○	○	○	2		
	海外英語資格実習	OK21K1203		2					○	○	○	○	○	○			
	ポルトガル語と文化Ⅰ	OK11K1302		1		○											
	ポルトガル語と文化Ⅱ	OK12K1302		1			○								2		
	スペイン語と文化Ⅰ	OK11K1303		1		○											
	スペイン語と文化Ⅱ	OK12K1303		1			○										
	フランス語と文化Ⅰ	OK11K1304		1		○									2		
	フランス語と文化Ⅱ	OK12K1304		1			○										
	中国語と文化Ⅰ	OK11K1305		1		○											
	中国語と文化Ⅱ	OK12K1305		1			○								2		
	中国語と文化Ⅲ	OK21K1302		1				○									
	中国語と文化Ⅳ	OK22K1302		1					○								
	韓国語と文化Ⅰ	OK11K1306		1		○									2		
	韓国語と文化Ⅱ	OK12K1306		1			○										
	韓国語と文化Ⅲ	OK21K1303		1				○									
	韓国語と文化Ⅳ	OK22K1303		1					○						2		
	日本語表現Ⅰ	OK11K1301		1		○											
	日本語表現Ⅱ	OK12K1301		1			○										
	日本語表現Ⅲ	OK21K1301		1				○							2		
	日本語表現Ⅳ	OK22K1301		1					○								
	日本国憲法	OK22K1401		2						○				2			
	海外研修A	OK21K1401		2					○	○	○	○	○	○	2		
	海外研修B	OK21K1402		4					○	○	○	○	○	○			
	基礎演習Ⅰ	OK11K1401		1		○											
	基礎演習Ⅱ	OK12K1401		1			○								2		
	エクステンション科目	OK00K2001		6		○	○	○	○	○	○	○	○	○			

エクステンション科目については別に定める。
*インターンシップ(海外)として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。

区分		授業科目名	科目ナンバー	必修	選択	自由	配当学年								中・高の免許 を取得する場合	日本語教 師養成必 須単位	卒業要件 単位数
							1年		2年		3年		4年				
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門 教育 科目	英語 ベー シック (スキル)	英語ベーシックⅠ	0G11S3001	1			○										
		英語ベーシックⅡ	0G12S3002	1				○									
		Listening and SpeakingⅠ	0G11S3003	2			◎							2			
		Listening and SpeakingⅡ	0G12S3004	2				◎						2			
		Listening and SpeakingⅢ	0G21S3005	2					◎					2			
		Listening and SpeakingⅣ	0G22S3006	2						◎				2			
		Communicative EnglishⅠ	0G31S3007	1							○			1			
		Communicative EnglishⅡ	0G32S3008	1								○		1			
		Reading and WritingⅠ	0G11S3009	3			◎										
		Reading and WritingⅡ	0G12S3010	3				◎									
		Reading and WritingⅢ	0G21S3011	3					◎								
		Reading and WritingⅣ	0G22S3012	3						◎							
		Academic WritingⅠ	0G31S3013	2							○						
		Academic WritingⅡ	0G32S3014	2								○					
		English PresentationⅠ	0G11S3015	1			○										
		English PresentationⅡ	0G12S3016	1				○									
		English PresentationⅢ	0G21S3017	1					○								
		English PresentationⅣ	0G22S3018	1						○							
		English PhoneticsⅠ	0G21S3019	2					○						2		
		English PhoneticsⅡ	0G22S3020	2						○					2		
		英語基礎文法Ⅰ(一部必修)	0G11S3021		1		○										
		英語基礎文法Ⅱ(一部必修)	0G12S3022		1												
		英語資格講座ⅠA	0G51S3023	1		○		○		○			○				
		英語資格講座ⅠB	0G51S3024	1		○		○		○			○				
		英語資格講座ⅠC	0G51S3025	1		○		○		○							
		英語資格講座ⅠD	0G51S3026	1		○		○		○			○				
		英語資格講座ⅡA	0G52S3027	1			○		○		○			○			
		英語資格講座ⅡB	0G52S3028	1								○		○			
		英語資格講座ⅡC	0G52S3029	1							○		○				
		英語資格講座ⅡD	0G52S3030	1					○			○		○			
区分		授業科目名	科目ナンバー	必修	選択	自由	配当学年								中・高の免許 を取得する場合	日本語教 師養成必 須単位	交 換 留 学・ 協 定 留 学・ 近 郊 留 学 を す る 場 合 は、 Study Abroad Preparation A/B
							1年		2年		3年		4年				
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門 教育 科目	三 コ ー ス 共 通 科 目	Overseas StudiesⅠ	0G11S4001	4				○									
		Overseas StudiesⅡ	0G12S4002		4					○	○	○	○	○	○		
		Study Abroad Preparation A	0G53S4003		1					○	○	○	○	○	○		
		Study Abroad Preparation B	0G53S4004		1					○	○	○	○	○	○		
		日本研究	0G21S4005	2						○						2	
		異文化研究	0G22S4006	2							○					2	2
		Asian Studies	0G22S4007		2						○						
		Oceanian Studies	0G31S4008		2							○					
		American Studies	0G21S4009		2					○						2	
		British Studies	0G31S4010		2							○				2	
		韓国研究	0G32S4011		2								○				
		イギリス文学入門	0G21S4012		2					○						2	
		アメリカ文学入門	0G22S4013		2						○					2	
		Speech & PresentationⅠ	0G31S4014		1							○		○			
		Speech & PresentationⅡ	0G32S4015		1								○		○		
		韓国コミュニケーション	0G31S4016		1							○					
		企業研究Ⅰ	0G31S4017		2							○					
		企業研究Ⅱ	0G32S4018		2								○				
		International Relations	0G51S4019		2							○		○			
		グローバルエコノミー	0G51S4020		2							○		○			
		グローバルビジネス	0G52S4021		2										○		
		Management	0G52S4022		2									○		○	
		Marketing	0G51S4023		2								○		○		
		フィールドワーク	0G53S4024		2					○	○	○	○	○	○		
		中国語検定対策A	0G51S4025		1		○		○		○		○		○		
		中国語検定対策B	0G52S4026		1			○		○		○		○		○	
		韓国語検定対策A	0G51S4027		1			○		○		○		○		○	
		韓国語検定対策B	0G52S4028		1				○		○		○		○		
		韓国留学	0G53S4029		2			○		○		○		○		○	
		韓国インターンシップA	0G53S4030		1				○		○		○		○		
		韓国インターンシップB	0G53S4031		2				○		○		○		○		
	英 語 コ ー ス	Media English	0G51S5001		2						○		○				
		Business English	0G52S5002		2							○		○			
		Interpretation	0G52S5003		2							○		○			
		Translation	0G51S5004		2							○		○			
		Extensive ReadingⅠ	0G51S5005		2							○		○			
		Extensive ReadingⅡ	0G52S5006		2								○		○		
		American Literature	0G51S5007		2							○		○		2	
		British Literature	0G52S5008		2								○		○		2
		English Linguistics	0G21S5009		2				○							2	
		Theory of English Structure	0G52S5010		2								○		○		2
	教 育 コ ー ス	Sociolinguistics	0G52S5011		2								○		○		2
		教職入門	0G12S6001		2				○							2	
		英語学習と学習指導要領	0G21S6002		2					○							
		English for ChildrenⅠ	0G51S6004		2						○		○		○		
		English for ChildrenⅡ	0G52S6005		2						○		○		○		
		Applied Linguistics	0G51S6006		2							○		○		2	2
		教育心理学	0G12S6007		2				○							2	
		教育相談	0G31S6008		2						○					2	
		教育課程論	0G42S6009		2									○		2	
		英語科教育法Ⅰ	0G21S6010		2					○						2	
	観 光 コ ー ス	英語科教育法Ⅱ	0G22S6011		2						○					2	
		英語科教育法Ⅲ	0G31S6012		2							○				2	
		英語科教育法Ⅳ	0G32S6013		2								○			2	
		Tourism EnglishⅠ	0G21S7001		2					○							
		Tourism EnglishⅡ	0G22S7002		2						○						
		Comparative Cultural Studies	0G32S7003		2								○				
		観光学概論	0G21S7004		2					○							
		観光ホスピタリティ	0G51S7005		2				○								
		旅行地誌A(国内)	0G11S7006		2			○									
		旅行地誌B(海外)	0G12S7007		2				○								
ゼミ・卒業研	観光マーケティング	0G21S7008		2						○							
	観光とサブカルチャー	0G52S7009		2								○					
	観光政策論	0G52S7010		2								○					
	観光とメディア	0G51S7011		2						○							
	Basic SeminarⅢ	0G21S8001		1					○								
	Basic SeminarⅣ	0G22S8002		1						○							
	SeminarⅠ	0G31S8003		1							○						
	SeminarⅡ	0G32S8004		1								○					
	SeminarⅢ	0G41S8005		1									○				
	SeminarⅣ	0G42S8006		1										○			
Graduation Research*	0G42S8107		4										○				

*原則として4年生後期に履修登録する。(留学等特別な理由がある場合は前期にも履修可能)
資格取得に関する課程(自由科目)

区分	授業科目名	科目ナンバー	必修	選択	自由	配当学年								中・高の免許 を取得する場合	日本語教 師養成必 須単位	卒業要件 単位数
						1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
自由科目	教育原理	OG12Z9001			2		○							2		
	道徳教育の指導法	OG21Z9002			2			○						2		
	生徒・進路指導論	OG22Z9003			2				○					2		
	特別支援基礎論	OG31Z9004			1					○				2		
	教育方法・技術論	OG31Z9005			2					○				2		
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	OG32Z9006			2						○			2		
	教育行政・制度論	OG32Z9007			2						○			2		
	教育実習指導	OG41Z9008			1							○		2		
	教育実習Ⅰ	OG43Z9009			4							○	○	2		
	教育実習Ⅱ	OG43Z9010			2							○	○	1		
	教職実践演習Ⅰ(中・高)	OG41Z9011			1							○		※		
	教職実践演習Ⅱ(中・高)	OG42Z9012			1								○	※		
	学校教育インターンシップ	OG22Z9013			2				○					2		
	日本語学概論	OG31Z9114			2						○				2	
	日英語比較Ⅰ	OG31Z9115			2						○				2	
	日英語比較Ⅱ	OG32Z9116			2							○			2	
	日本語教育学概論	OG32Z9117			2							○			2	
	日本語教育法Ⅰ	OG31Z9118			2						○				2	
	日本語教育法Ⅱ	OG32Z9119			2							○			2	
	日本語教育演習Ⅰ	OG31Z9120			2						○				2	
	日本語教育演習Ⅱ	OG32Z9121			2							○			2	
	日本語教育実習	OG43Z9122			2								○	○	2	

※どちらか必ず履修

国際学部国際学科 教育課程表（共通教育科目）

区分	授業科目名	科目ナンバー	必修	英免	日免	配当学年							
						1年		2年		3年		4年	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通教育科目	教養科目	ライフコース論	2			2							
		ジェンダー論				2							
		自分と家庭				2							
		芸術の世界	2			2							
		文学の世界				2							
		心の探求				2							
		生き方の探求				2							
		生活と経済	2				2						
		地域社会					2						
		人間と歴史					2						
		異文化理解	2		△		2						
		日本の文化			△		2						
		国際関係論					2						
		グローバル社会と宗教					2						
		環境の科学	2					2					
		食と生命の科学						2					
		生き物の社会						2					
	基礎科目	スポーツ健康論	1	△			2						
		スポーツⅠ		△					1				
		スポーツⅡ		△					1				
		統計学	1						2				
		社会調査法							2				
		情報社会論							2				
		コンピュータⅠ		○		1							
		コンピュータⅡ		○			1						
		NGO・NPO論	1							2			
		現代社会と企業								2			
		地域協力演習								2			
		インターンシップ（国内）A						1	1	1	1	1	1
		インターンシップ（国内）B						2	2	2	2	2	2
		インターンシップ（海外）A*				1	1	1	1	1	1	1	1
		インターンシップ（海外）B*					2	2	2	2	2	2	2
		インターンシップ（海外）C*					3	3	3	3	3	3	3
		インターンシップ（海外）D*					4	4	4	4	4	4	4
		ボランティア（国内）					1	1	1	1	1	1	1
		ボランティア（海外）					2	2	2	2	2	2	2
		海外英語資格実習						2	2	2	2	2	2
		ポルトガル語と文化Ⅰ	2			1							
		ポルトガル語と文化Ⅱ					1						
		スペイン語と文化Ⅰ				1							
		スペイン語と文化Ⅱ					1						
		フランス語と文化Ⅰ				1							
		フランス語と文化Ⅱ					1						
		中国語と文化Ⅰ				1							
		中国語と文化Ⅱ					1						
		中国語と文化Ⅲ						1					
		中国語と文化Ⅳ							1				
		韓国語と文化Ⅰ				1							
		韓国語と文化Ⅱ					1						
		韓国語と文化Ⅲ						1					
		韓国語と文化Ⅳ							1				
		日本国憲法			○				2				
		海外研修A						2	2	2	2	2	2
		海外研修B						4	4	4	4	4	4
		基礎演習Ⅰ	1			1							
		基礎演習Ⅱ	1				1						
		エクステンション科目	OK00K2001										

エクステンション科目については別に定める。

*インターンシップ（海外）として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。

国際学科国際学科 教育課程表(基礎科目)

英語必修(6)+日本語表現Ⅰ～Ⅳ(4)、基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ(2)、その他(24)+海外語学実習Ⅰ(4)単位=40単位取得を必修とする

Categories	The Original Course Titles	科目ナンバ	必修	免許		学年配当・単位							
			Degree	英免	日免	1st Yr Spring	1st Yr Fall	2nd Yr Spring	2nd Yr Fall	3rd Yr Spring	3rd Yr Fall	4th Yr Spring	4th Yr Fall
国際学基礎	English Skills	Grammar for Communication I	OG11S3001	○		1							
		Grammar for Communication II	OG12S3002	○			1						
		Speaking I	OG11S3003		○	1							
		Speaking II	OG12S3004		○		1						
		Writing for Communication I	OG11S3005			1							
		Writing for Communication II	OG12S3006				1						
		Reading I	OG11S3007			1							
		Reading II	OG12S3008				1						
		English Phonetics I	OG11S3009	○	○	2							
		English Phonetics II	OG12S3010	○	○		2						
		English Presentation I	OG21S3011		○			1					
		English Presentation II	OG22S3012		○				1				
		Communicative English I	OG21S3013		○			1					
		Communicative English II	OG22S3014		○				1				
		英語資格講座 IA	OG11S3015			1							
		英語資格講座 IIA	OG12S3016				1						
		英語資格講座 IB	OG11S3017			1							
		英語資格講座 IIB	OG12S3018				1						
		英語資格講座 IC	OG11S3019			1							
		英語資格講座 IIC	OG12S3020				1						
		観光英語A	OG11S3021			1							
		観光英語B	OG12S3022				1						
	Basic Social Skills	日本語表現Ⅰ	OG11S3023	○		1							
		日本語表現Ⅱ	OG12S3024	○			1						
		日本語表現Ⅲ	OG21S3025	○				1					
		日本語表現Ⅳ	OG22S3026	○					1				
		基礎ゼミナールⅠ	OG21S3027	○				1					
		基礎ゼミナールⅡ	OG22S3028	○					1				
		サステナブルな社会	OG11S3029			2							
		日本のポピュラーカルチャー	OG11S3030			2							
		アニメーション論	OG12S3031				2						
		時事ニュース(国内)Ⅰ	OG21S3032					2					
		時事ニュース(外国)Ⅱ	OG22S3033						2				
		アメリカ文学入門	OG21S3034		○			2					
		イギリス文学入門	OG22S3035		○				2				
		楽しい古典芸能	OG22S3036						2				
		キャリアデザインⅠ	OG31S3037							2			
		キャリアデザインⅡ	OG32S3038								2		
		海外語学実習Ⅰ(英語圏)	OG12S3039	○			4						
		海外語学実習Ⅰ(韓国語)	OG12S3040				4						
		海外語学実習Ⅰ(中国語圏)	OG12S3041				4						
		海外語学実習Ⅱ(英語圏)	OG53S3042						4				
		海外語学実習Ⅱ(韓国語)	OG53S3043						4				
		海外語学実習Ⅱ(中国語圏)	OG53S3044						4				

国際学部国際学科 教育課程表(専門科目)

メジャー専攻30単位＋マイナー専攻20単位＋専門ゼミ4単位＋卒業研究4単位＝58 単位取得を卒業要件とする

Category		The Original Course Titles	科目ナンバー	メジャー必修	英免	日免	1・前	1・後	2・前	2・後	3前	3・後	4・前	4・後	メジャー要件
Global Studies & ICT Major	ICT & Media	情報リテラシー I (合同)	OG21S4001						2						30
		情報リテラシー II	OG22S4002							2					
		ITスキル応用 I	OG31S4003								1				
		ITスキル応用 II	OG32S4004									1			
		データサイエンス基礎	OG31S4005								2				
		コンテンツ制作(集中)	OG32S4006									2			
	Global Understanding	中国語検定対策	OG21S4007						2						
		中国語リスニング&スピーキング	OG22S4008							2					
		中国語リーディング&ライティング	OG31S4009								2				
		日中交流史	OG32S4010									2			
		ビジネス環境とマーケティング	OG22S4011							2					
		学校文化と英語学習	OG21S4012		△				2						
		Advanced Writing I	OG21S4013						2						
		Advanced Writing II	OG22S4014							2					
		Business English	OG21S4015						2						
		Communicative English III	OG31S4016		○						1				
		Communicative English IV	OG32S4017		○							1			
		英語翻訳・通訳	OG31S4018								2				
		Speech & Presentation	OG32S4019									1			
		British Studies	OG31S4020		△						2				
		American Studies	OG31S4021		△						2				
		Theory of English Structure	OG31S4022		△						2				
		American Literature	OG32S4023		△							2			
		British Literature	OG32S4024		△							2			
		International Relations	OG32S4025									2			
		Study Abroad Preparation A	OG21S4026						1						
		Study Abroad Preparation B	OG21S4027							1					
Japanese Education Major	Japanese Education	多文化社会論	OG11S5028		○	○	2								30
		日本語概論	OG12S5029			○		2							
		日本語教育概論 I	OG21S5030			○			2						
		日本語教育概論 II	OG22S5031			○				2					
		日英語比較 I (合同)	OG21S5032			△			2						
		日英語比較 II (合同)	OG22S5033			△				2					
		社会と言語	OG31S5034			○					2				
		日本語教育法 I	OG31S5035			○					2				
		日本語教育法 II	OG32S5036			○						2			
		言語学	OG31S5037			△					2				
		応用言語学	OG32S5038		△	△						2			
		日本語教育演習 I	OG41S5039			○							2		
		日本語教育演習 II	OG42S5040			○								2	
	Educational Career	学校教育インターンシップ	OG53S5041		△	△			2						
		国内日本語教育インターンシップ	OG43S5042			△							2	2	
		海外日本語教育インターンシップA	OG43S5043			△							2	2	
		海外日本語教育インターンシップB	OG43S5044			△							4	4	
		日本語教育ボランティアA	OG53S5045			△			2						
		日本語教育ボランティアB	OG53S5046			△			4						

Korean Major	Or e a n L a n g u a g e	韓国語表現文法	OG12S6001					2					
		韓国語リスニング&スピーキング	OG21S6002						2				
		韓国語リーディング&ライティング	OG22S6003							2			
		韓国語コミュニケーション	OG21S6004						2				
		韓国語プレゼンテーション	OG22S6005							2			
		韓国語映像翻訳	OG31S6006								2		
		ビジネス韓国語	OG32S6007									2	
	K o r e a n C u l t u r e	韓国事情(合同)オンライン	OG12S6008					2					
		韓国サブカルチャー(合同)	OG21S6009				2						
		韓国現代文学(合同)	OG22S6010						2				
		日韓対照言語学	OG31S6011							2			
		韓国の歴史	OG32S6012								2		
		韓国伝統文化と思想	OG41S6013									2	
		日韓文化比較	OG21S6014						2				
		韓国自由研究	OG22S6015							2			
	K o r e a n : C a r e e r	韓国インターンシップ	OG53S6016						2	2			
		韓国留学準備講座A	OG21S6017							2			
		韓国留学準備講座B	OG22S6018								2		
		検定韓国語初級A	OG11S6019				1						
		検定韓国語中級A	OG11S6020				1						
		検定韓国語上級A	OG11S6021				1						
		検定韓国語初級B	OG12S6022					1					
		検定韓国語中級B	OG12S6023					1					
		検定韓国語上級B	OG12S6024					1					
T o u r i s m M a j o r	G e n e r a l :	観光学概論	OG12S7001					2					
		観光と文化	OG22S7002							2			
		観光ホスピタリティ	OG21S7003							2			
		観光政策論	OG32S7004									2	
		観光インターンシップ	OG53S7005						2	2			
	B T o u r i s m : :	観光と地理	OG11S7006				2						
		エアライン講座	OG21S7007							2			
		旅行産業論	OG22S7008							2			
		宿泊産業論	OG31S7009								2		
		交通産業論	OG31S7010								2		
		観光マーケティング	OG32S7011									2	
		観光とソーシャルメディア	OG32S7012									2	
	P l a n n i n g :	祭と文化	OG21S7013						2				
		観光まちづくり論	OG31S7014								2		
		地域ブランディング論	OG32S7015									2	
		観光と社会	OG22S7016						2				
地域フィールドワーク		OG21S7017						2					
G S e m i n a r i o n & R e s e a r c h		専門ゼミナールⅠ	OG31S7018	○						1			
		専門ゼミナールⅡ	OG32S7019	○							1		
		専門ゼミナールⅢ	OG41S7020	○								1	
		専門ゼミナールⅣ	OG42S7021	○								1	
		卒業研究	OG42S7022	○									4

国際学部国際学科 教育課程表(教職科目)

Category		The Original Course Titles	科目ナンバー	必修	英免	日免	1・前	1・後	2・前	2・後	3・前	3・後	4・前	4・後
E n g l i s h T e a c h e r L i c e n s e	E d u c a t i o n	教職入門	OG12S8001		○			2						
		教育原理	OG12S8002		○			2						
		学習心理学	OG12S8003		○			2						
		道德教育の指導法	OG21S8004		○				2					
		生徒・進路指導論	OG22S8005		○					2				
		特別支援基礎論(集中)	OG31S8006		○						1			
		教育方法・技術論(ICT活用含む)	OG31S8007		○						2			
		教育相談	OG31S8008		○						2			
		教育行政・制度論	OG32S8009		○							2		
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	OG32S8010		○							2		
		教育課程論	OG42S8011		○									2
	E d u c a t i o n	英語科教育法Ⅰ	OG21S8012		○				2					
		英語科教育法Ⅱ	OG22S8013		○					2				
		英語科教育法Ⅲ	OG31S8014		○						2			
		英語科教育法Ⅳ	OG32S8015		○							2		
		教職実践演習Ⅰ	OG41S8016		○								1	
		教職実践演習Ⅱ	OG42S8017		○									1
		教育実習指導	OG41S8018		○								1	
		教育実習Ⅰ	OG41S8019		○								4	
		教育実習Ⅱ	OG41S8020										2	

桜花学園大学 共通教育委員会規程

（設 置）

第1条 保育学部教授会規程第11条ならびに国際学部教授会規程第11条に基づき、桜花学園大学の共通教育に関する事項を審議するため、桜花学園大学共通教育委員会（以下「共通教育委員会」という。）をおく。

（所掌事項）

第2条 共通教育委員会は、桜花学園大学の共通教育に係わる教育課程および授業に関する事項を審議し、必要な連絡調整を行う。

（構 成）

第3条 共通教育委員会は次の構成とする。

- （1）共通教育委員会には委員長をおき、教務部長をもって充てる。
- （2）委員は各学科1人、教務課職員2人とする。各学科選出の委員は、教務委員をもって充てることができる。

（任 期）

第4条 委員の任期は1年として、再任を妨げない。

（会 議）

第5条 会議は委員長が必要と認めるとき、開催するものとする。

- 2 会議はいずれかの学部から開催要請があった場合、開催するものとする。
- 3 会議は両学部委員の賛成をもって決する。
- 4 委員長は必要と判断した場合、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

（連絡調整）

第6条 委員長は共通教育に係わる事項について、必要に応じて学長、副学長、学部長との連絡調整を行う。

- 2 委員長は共通教育に係わる事項について、必要に応じて名古屋短期大学との連絡調整を行う。

（改 廃）

第7条 本規程の改廃は、保育学部・国際学部合同運営協議会の議を経て行う。

(事 務)

第8条 共通教育委員会の事務は、学務部が行う。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

この改定規程(学部名の変更)は、令和6年4月1日から施行する。なお、学芸学部 に在籍する学生が卒業するまでは、当該学生に係る事項についても取り扱うものとする。

桜花学園大学 保育学部 教務委員会規程

(準 拠)

第1条 この規程は、桜花学園大学保育学部教授会規程第11条に基づき、教務委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 委員会は次の事項を審議し、必要な連絡調整をおこなう。

- (1) 教育課程および授業に関する事項
- (2) 定期試験に関する事項
- (3) 学生の成績評価、単位認定に関する事項
- (4) 資格授与に関する事項
- (5) 学籍に関する事項
- (6) 時間割編成に関する事項
- (7) 各学科の授業運営に係わる連絡調整に関する事項
- (8) 教授会から付託された事項
- (9) その他教務に関する必要事項
- (10) (1)～(9)について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

(構 成)

第3条 委員会は、次の構成とする。

- (1) 各学科1名もしくは2名及び教務課職員1名の委員により構成する。
- (2) 委員会には委員長を置く。委員長は委員の互選とする。

(任 期)

第4条 委員の任期は1年として、再任を妨げない。

(会 議)

第5条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 会議の議決は、出席委員の3分の2以上の賛成による。
- 4 委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。
- 5 委員長は、委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席

を求めることができる。

(実習委員会への委任)

第6条 委員会に、実習委員会を置く。

2 委員会は、実習等に関する事項を実習委員会に審議決定させることができる。

3 実習委員会の規程は別に定める。

(審議の委任)

第7条 委員会の審議を必要に応じて桜花学園大学合同教務委員会に委任することができる。

2 桜花学園大学合同教務委員会は桜花学園大学の教務関係事項を審議し、連絡調整をおこなう。

3 桜花学園大学合同教務委員会の規程は別に定める。

(連絡調整)

第8条 委員会は必要に応じて名古屋短期大学との連絡調整を行う。

(事 務)

第9条 委員会に対応する事務は、教務課が行う。

(規程の制定)

第10条 委員会はこの規程に定めるものの他、必要に応じて規程を定めることができる。

(改 廃)

第11条 この規程の改廃は、保育学部教授会の議を経て行う。

附 則

この規程は、平成21年4月1日より施行する。

この規程は、平成28年4月1日より施行する。

この規程は、平成30年4月1日より施行する。

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

桜花学園大学 国際学部 教務委員会規程

(準 拠)

第1条 この規程は、桜花学園大学国際学部教授会規程第11条に基づき、教務委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 委員会は次の事項を審議し、必要な連絡調整をおこなう。

- (11) 教育課程および授業に関する事項
- (12) 定期試験に関する事項
- (13) 学生の成績評価、単位認定に関する事項
- (14) 資格授与に関する事項
- (15) 学籍に関する事項
- (16) 時間割編成に関する事項
- (17) 各学科の授業運営に係わる連絡調整に関する事項
- (18) 教授会から付託された事項
- (19) その他教務に関する必要事項
- (20) (1)～(9)について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

(構 成)

第3条 委員会は、次の構成とする。

- (3) 各学科1名もしくは2名及び教務課職員1名の委員により構成する。
- (4) 委員会には委員長を置く。委員長は委員の互選とする。

(任 期)

第4条 委員の任期は1年として、再任を妨げない。

(会 議)

第5条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 会議の議決は、出席委員の3分の2以上の賛成による。
- 4 委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。
- 5 委員長は、委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席

を求めることができる。

(審議の委任)

第6条 委員会の審議を必要に応じて桜花学園大学合同教務委員会に委任することができる。

2 桜花学園大学合同教務委員会は桜花学園大学の教務関係事項を審議し、連絡調整をおこなう。

3 桜花学園大学合同教務委員会の規程は別に定める。

(連絡調整)

第7条 委員会は必要に応じて名古屋短期大学との連絡調整を行う。

(事務)

第8条 委員会に対応する事務は、教務課が行う。

(規程の制定)

第9条 委員会はこの規程に定めるものの他、必要に応じて規程を定めることができる。

(改 廃)

第10条 この規程の改廃は、国際学部教授会の議を経て行う。

附 則

この規程は、平成21年4月1日より施行する。

この規程は、平成28年4月1日より施行する。

この規程は、平成30年4月1日より施行する。

この規程は、令和4年4月1日より施行する。

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

この改定規程(学部名の変更)は、令和6年4月1日から施行する。なお、学芸学部 に在籍する学生が卒業するまでは、当該学生に係る事項についても取り扱うものとする。

桜花学園大学 F D 委員会規程

(設 置)

第1条 桜花学園大学学則第3条の規定に基づき、ファカルティ・ディベロップメント (Faculty Development「授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究」をいい、以下「F D」という。) を実施するため、桜花学園大学F D委員会 (以下「委員会」という。) を置く。

(所 掌)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を取り扱う。

- (1) F Dのための基本方針の策定に関する事項
- (2) F Dのための研修会等の開催に関する事項
- (3) その他F Dに関する事項
- (4) (1) ～ (3) について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

(構 成)

第3条 委員会の構成は、次のとおりとする。

- (1) 構成は、教務部長、各学科より選出されたそれぞれ1名もしくは2名の委員及び教務課長とする。
- (2) 委員長は、委員の互選により選出するものとする。

(会 議)

第4条 委員会の会議は、次のとおりとする。

- (1) 会議は、委員長が招集し、その議長となる。
- (2) 会議は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- (3) 会議の議決は、委員の3分の2以上の賛成による。
- (4) 委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。
- (5) 委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

(事 務)

第5条 委員会の事務は、学務部が行う。

(制 定)

第6条 委員会は、この規程に定めるものの他、必要に応じて規則を定めることができる。

(改 廃)

第7条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

桜花学園大学 保育学部 F D 委員会規程

(準 則)

第1条 この規程は、桜花学園大学保育学部教授会規程第11条に基づき、F D 委員会（以下「委員会」という。）に関する必要な事項について定める。

(目 的)

第2条 委員会は、保育学部の教職員の教育研究、職務能力の向上に関する事項について審議し、保育学部のF D活動に関する計画を策定し、教育研究の発展に資することを目的とする。

(構 成)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 各学科より選出されるそれぞれ1名もしくは2名の各学科教員
- (2) 事務局により選出される職員1名
- 2 委員長は委員の互選により選出する。

(所掌事項)

第4条 委員会は、次の事項を審議し具体化する。

- (1) 授業評価に関する事項
- (2) 授業の公開・交流に関する事項
- (3) 教職員の研修に関する事項
- (4) その他F D活動に関する事項
- (5) (1)～(4)について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

(会 議)

第5条 会議は、委員長が招集し議長となる。

- 2 会議は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 会議の議決は、出席委員の3分の2以上の賛成による。
- 4 委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。
- 5 委員長は、委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

(報 告)

第6条 委員長は、審議の結果を教授会に報告しなければならない。

(事 務)

第7条 委員会の事務は、教務課が行う。

(規程の制定)

第8条 委員会はこの規程に定めるものの他、必要に応じて規程を定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、保育学部教授会の議を経て行う。

附 則

この規則は平成21年4月1日から施行する。

この規程は平成28年4月1日から施行する。

この規程は平成30年4月1日から施行する。

この規程は令和5年4月1日から施行する。

桜花学園大学 国際学部 F D 委員会規程

(準 則)

第1条 この規程は、桜花学園大学国際学部教授会規程第11条に基づき、F D 委員会（以下「委員会」という。）に関する必要な事項について定める。

(目 的)

第2条 委員会は、国際学部の教職員の教育研究、職務能力の向上に関する事項について審議し、学芸学部のF D活動に関する計画を策定し、教育研究の発展に資することを目的とする。

(構 成)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (3) 各学科より選出されるそれぞれ1名もしくは2名の各学科教員
- (4) 事務局により選出される職員1名
- 2 委員長は委員の互選により選出する。

(所掌事項)

第4条 委員会は、次の事項を審議し具体化する。

- (6) 授業評価に関する事項
- (7) 授業の公開・交流に関する事項
- (8) 教職員の研修に関する事項
- (9) その他F D活動に関する事項
- (10) (1)～(4)について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

(会 議)

第5条 会議は、委員長が招集し議長となる。

- 2 会議は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 会議の議決は、出席委員の3分の2以上の賛成による。
- 4 委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。
- 5 委員長は、委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

(報 告)

第6条 委員長は、審議の結果を教授会に報告しなければならない。

(事 務)

第7条 委員会の事務は、教務課が行う。

(規程の制定)

第8条 委員会はこの規程に定めるものの他、必要に応じて規程を定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、国際学部教授会の議を経て行う。

附 則

この規則は平成21年4月1日から施行する。

この規程は平成28年4月1日から施行する。

この規程は平成30年4月1日から施行する。

この規程は令和5年4月1日から施行する。

この改定規程（学部名の変更）は、令和6年4月1日から施行する。なお、学芸学部 に在籍する学生が卒業するまでは、当該学生に係る事項についても取り扱うものとする。

桜花学園大学 共通教育委員会規程

(設 置)

第1条 保育学部教授会規程第11条ならびに国際学部教授会規程第11条に基づき、桜花学園大学の共通教育に関する事項を審議するため、桜花学園大学共通教育委員会（以下「共通教育委員会」という。）をおく。

(所掌事項)

第2条 共通教育委員会は、桜花学園大学の共通教育に係わる教育課程および授業に関する事項を審議し、必要な連絡調整を行う。

(構 成)

第3条 共通教育委員会は次の構成とする。

- (1) 共通教育委員会には委員長をおき、教務部長をもって充てる。
- (2) 委員は各学科1人、教務課職員2人とする。各学科選出の委員は、教務委員をもって充てることができる。

(任 期)

第4条 委員の任期は1年として、再任を妨げない。

(会 議)

第5条 会議は委員長が必要と認めるとき、開催するものとする。

- 2 会議はいずれかの学部から開催要請があった場合、開催するものとする。
- 3 会議は両学部委員の賛成をもって決する。
- 4 委員長は必要と判断した場合、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

(連絡調整)

第6条 委員長は共通教育に係わる事項について、必要に応じて学長、副学長、学部長との連絡調整を行う。

- 2 委員長は共通教育に係わる事項について、必要に応じて名古屋短期大学との連絡調整を行う。

(改 廃)

第7条 本規程の改廃は、保育学部・国際学部合同運営協議会の議を経て行う。

(事 務)

第8条 共通教育委員会の事務は、学務部が行う。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

この改定規程(学部名の変更)は、令和6年4月1日から施行する。なお、学芸学部 に在籍する学生が卒業するまでは、当該学生に係る事項についても取り扱うものとする。

桜花学園大学 保育学部 教務委員会規程

(準 拠)

第1条 この規程は、桜花学園大学保育学部教授会規程第11条に基づき、教務委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 委員会は次の事項を審議し、必要な連絡調整をおこなう。

- (1) 教育課程および授業に関する事項
- (2) 定期試験に関する事項
- (3) 学生の成績評価、単位認定に関する事項
- (4) 資格授与に関する事項
- (5) 学籍に関する事項
- (6) 時間割編成に関する事項
- (7) 各学科の授業運営に係わる連絡調整に関する事項
- (8) 教授会から付託された事項
- (9) その他教務に関する必要事項
- (10) (1)～(9)について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

(構 成)

第3条 委員会は、次の構成とする。

- (1) 各学科1名もしくは2名及び教務課職員1名の委員により構成する。
- (2) 委員会には委員長を置く。委員長は委員の互選とする。

(任 期)

第4条 委員の任期は1年として、再任を妨げない。

(会 議)

第5条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 会議の議決は、出席委員の3分の2以上の賛成による。
- 4 委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。
- 5 委員長は、委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席

を求めることができる。

(実習委員会への委任)

第6条 委員会に、実習委員会を置く。

2 委員会は、実習等に関する事項を実習委員会に審議決定させることができる。

3 実習委員会の規程は別に定める。

(審議の委任)

第7条 委員会の審議を必要に応じて桜花学園大学合同教務委員会に委任することができる。

2 桜花学園大学合同教務委員会は桜花学園大学の教務関係事項を審議し、連絡調整をおこなう。

3 桜花学園大学合同教務委員会の規程は別に定める。

(連絡調整)

第8条 委員会は必要に応じて名古屋短期大学との連絡調整を行う。

(事 務)

第9条 委員会に対応する事務は、教務課が行う。

(規程の制定)

第10条 委員会はこの規程に定めるものの他、必要に応じて規程を定めることができる。

(改 廃)

第11条 この規程の改廃は、保育学部教授会の議を経て行う。

附 則

この規程は、平成21年4月1日より施行する。

この規程は、平成28年4月1日より施行する。

この規程は、平成30年4月1日より施行する。

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

桜花学園大学 国際学部 教務委員会規程

(準 拠)

第1条 この規程は、桜花学園大学国際学部教授会規程第11条に基づき、教務委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 委員会は次の事項を審議し、必要な連絡調整をおこなう。

- (11) 教育課程および授業に関する事項
- (12) 定期試験に関する事項
- (13) 学生の成績評価、単位認定に関する事項
- (14) 資格授与に関する事項
- (15) 学籍に関する事項
- (16) 時間割編成に関する事項
- (17) 各学科の授業運営に係わる連絡調整に関する事項
- (18) 教授会から付託された事項
- (19) その他教務に関する必要事項
- (20) (1)～(9)について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

(構 成)

第3条 委員会は、次の構成とする。

- (3) 各学科1名もしくは2名及び教務課職員1名の委員により構成する。
- (4) 委員会には委員長を置く。委員長は委員の互選とする。

(任 期)

第4条 委員の任期は1年として、再任を妨げない。

(会 議)

第5条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 会議の議決は、出席委員の3分の2以上の賛成による。
- 4 委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。
- 5 委員長は、委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席

を求めることができる。

(審議の委任)

第6条 委員会の審議を必要に応じて桜花学園大学合同教務委員会に委任することができる。

2 桜花学園大学合同教務委員会は桜花学園大学の教務関係事項を審議し、連絡調整をおこなう。

3 桜花学園大学合同教務委員会の規程は別に定める。

(連絡調整)

第7条 委員会は必要に応じて名古屋短期大学との連絡調整を行う。

(事務)

第8条 委員会に対応する事務は、教務課が行う。

(規程の制定)

第9条 委員会はこの規程に定めるものの他、必要に応じて規程を定めることができる。

(改 廃)

第10条 この規程の改廃は、国際学部教授会の議を経て行う。

附 則

この規程は、平成21年4月1日より施行する。

この規程は、平成28年4月1日より施行する。

この規程は、平成30年4月1日より施行する。

この規程は、令和4年4月1日より施行する。

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

この改定規程(学部名の変更)は、令和6年4月1日から施行する。なお、学芸学部 に在籍する学生が卒業するまでは、当該学生に係る事項についても取り扱うものとする。

桜花学園大学 F D 委員会規程

(設 置)

第1条 桜花学園大学学則第3条の規定に基づき、ファカルティ・ディベロップメント (Faculty Development「授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究」をいい、以下「F D」という。) を実施するため、桜花学園大学F D委員会 (以下「委員会」という。) を置く。

(所 掌)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を取り扱う。

- (1) F Dのための基本方針の策定に関する事項
- (2) F Dのための研修会等の開催に関する事項
- (3) その他F Dに関する事項
- (4) (1) ～ (3) について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

(構 成)

第3条 委員会の構成は、次のとおりとする。

- (1) 構成は、教務部長、各学科より選出されたそれぞれ1名もしくは2名の委員及び教務課長とする。
- (2) 委員長は、委員の互選により選出するものとする。

(会 議)

第4条 委員会の会議は、次のとおりとする。

- (1) 会議は、委員長が招集し、その議長となる。
- (2) 会議は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- (3) 会議の議決は、委員の3分の2以上の賛成による。
- (4) 委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。
- (5) 委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

(事 務)

第5条 委員会の事務は、学務部が行う。

(制 定)

第6条 委員会は、この規程に定めるものの他、必要に応じて規則を定めることができる。

(改 廃)

第7条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

桜花学園大学 保育学部 F D 委員会規程

(準 則)

第1条 この規程は、桜花学園大学保育学部教授会規程第11条に基づき、F D 委員会（以下「委員会」という。）に関する必要な事項について定める。

(目 的)

第2条 委員会は、保育学部の教職員の教育研究、職務能力の向上に関する事項について審議し、保育学部のF D活動に関する計画を策定し、教育研究の発展に資することを目的とする。

(構 成)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 各学科より選出されるそれぞれ1名もしくは2名の各学科教員
- (2) 事務局により選出される職員1名
- 2 委員長は委員の互選により選出する。

(所掌事項)

第4条 委員会は、次の事項を審議し具体化する。

- (1) 授業評価に関する事項
- (2) 授業の公開・交流に関する事項
- (3) 教職員の研修に関する事項
- (4) その他F D活動に関する事項
- (5) (1)～(4)について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

(会 議)

第5条 会議は、委員長が招集し議長となる。

- 2 会議は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 会議の議決は、出席委員の3分の2以上の賛成による。
- 4 委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。
- 5 委員長は、委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

(報 告)

第6条 委員長は、審議の結果を教授会に報告しなければならない。

(事 務)

第7条 委員会の事務は、教務課が行う。

(規程の制定)

第8条 委員会はこの規程に定めるものの他、必要に応じて規程を定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、保育学部教授会の議を経て行う。

附 則

この規則は平成21年4月1日から施行する。

この規程は平成28年4月1日から施行する。

この規程は平成30年4月1日から施行する。

この規程は令和5年4月1日から施行する。

桜花学園大学 国際学部 F D 委員会規程

(準 則)

第1条 この規程は、桜花学園大学国際学部教授会規程第11条に基づき、F D 委員会（以下「委員会」という。）に関する必要な事項について定める。

(目 的)

第2条 委員会は、国際学部の教職員の教育研究、職務能力の向上に関する事項について審議し、学芸学部のF D活動に関する計画を策定し、教育研究の発展に資することを目的とする。

(構 成)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

(3) 各学科より選出されるそれぞれ1名もしくは2名の各学科教員

(4) 事務局により選出される職員1名

2 委員長は委員の互選により選出する。

(所掌事項)

第4条 委員会は、次の事項を審議し具体化する。

(6) 授業評価に関する事項

(7) 授業の公開・交流に関する事項

(8) 教職員の研修に関する事項

(9) その他F D活動に関する事項

(10) (1)～(4)について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

(会 議)

第5条 会議は、委員長が招集し議長となる。

2 会議は、委員の3分の2以上の出席により成立する。

3 会議の議決は、出席委員の3分の2以上の賛成による。

4 委員長は、委員の半数以上または教授会から会議の開催を求められた場合、会議を開催しなければならない。

5 委員長は、委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

(報 告)

第6条 委員長は、審議の結果を教授会に報告しなければならない。

(事 務)

第7条 委員会の事務は、教務課が行う。

(規程の制定)

第8条 委員会はこの規程に定めるものの他、必要に応じて規程を定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、国際学部教授会の議を経て行う。

附 則

この規則は平成21年4月1日から施行する。

この規程は平成28年4月1日から施行する。

この規程は平成30年4月1日から施行する。

この規程は令和5年4月1日から施行する。

この改定規程（学部名の変更）は、令和6年4月1日から施行する。なお、学芸学部 に在籍する学生が卒業するまでは、当該学生に係る事項についても取り扱うものとする。

大学等名	桜花学園大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	桜花学園大学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム	申請年度	令和7年度

取組概要

プログラムの目的

学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、デジタル社会の基礎的な素養としての能力を養成する。

身に付けられる能力

課題や目的に応じて、数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識を基に情報を収集・分析し、人間や社会への深い洞察力和情報モラル・情報セキュリティの理解をもって、課題を解決するために自己の見解を適切に発信・伝達できる実践的な能力を身につける。

開講されている科目の構成

次の3科目6単位（共通教育科目・基礎科目・数量的スキル情報リテラシー関係）
統計学、社会調査法、情報社会論

修了要件

プログラムを構成する科目から、2単位以上取得すること。

実施体制

プログラムの運営責任者：共通教育委員長
プログラムを改善・進化させるための体制/プログラムの自己点検・評価を行う体制：桜花学園大学共通教育委員会、桜花学園大学合同教務委員会、桜花学園大学FD委員会